

2021

# 夏季大聖会

最後まで耐え忍ぶ信仰により救済史の御言葉運動の勝利者となろう!

(マタ 24:13、ヤコ 5:10、黙 17:14)

2021年8月1-4日(主-水) | 非対面・オンライン中継 | YouTubeで「平康第一教会」を検索



# 日程

時間(午後)	8/1(主)	8/2(月)	8/3(火)	8/4(水)
2:00-2:20	賛美			
2:20-3:30	<b>開会礼拝・講義1</b> エデンとエゼキエルの 宮の命の水と終わりの 測り	<b>講義2</b> 荒野で数えられた、 生きている者の系図	<b>講義6</b> 聖書の系図と 歴代誌の系図の 救済史的経綸	
		<b>講義3</b> シナイ山契約の 驚くべき慈しみ	<b>講義7</b> 新しい契約を通じて 見せてくださる 御国	
3:30-3:50		映像視聴	映像視聴	
3:50-5:00		<b>講義4</b> 出エジプトがら カナンまでの路程の 救済史的意味	<b>講義8</b> 御言葉通りに 成就した アブラハムの義	
		<b>講義5</b> バビロン捕囚と帰還 に盛り込まれた 終末的救済経綸	<b>講義9</b> 再臨の最終場所であ るエゼキエルの宮の ケルビムと棕櫚の木	
7:30-9:00				<b>閉会礼拝</b> (映像説教)



2021 夏季大聖会 開会礼拝(講義1)

## エデンとエゼキエルの宮の命の水と終わりの測り

エゼ 47:1-8

エゼキエルの宮は新しいエルサレムの青写真であり、終わりに起きることのしるしである。本講義では園のエデンとエゼキエルの宮での命の水の御業を比較することで自分たちの使命を確認したい。

### 1. エデンとエゼキエルの宮がつながっている根拠

(1) 創造の中に \_\_\_\_\_ が盛り込まれているためである。

**イザ 46:10** わたしは終りの事を初めから告げ、まだなされない事を昔から告げて言う、『わたしの計りごととは必ず成り、わが目的をことごとくなし遂げる』と。

ここで「初め」はヘブル語の「レシュト」であり、創 1:1では「 \_\_\_\_\_ 」と訳されている。

(2) エゼキエルは予言者の中でも \_\_\_\_\_ のイメージを最も多く使っているためである。

**エゼ 28:13** あなたは神の園エデンにあって、もろもろの宝石が、あなたをおおっていた。すなわち 赤めのう、黄玉、青玉、貴かんらん、緑柱石、縞めのう、サファイヤ、ざくろ石、エメラルド。そしてあなたの象眼も彫刻も金でなされた。これらはあなたの造られた日に、あなたのために備えられた。

**エゼ 31:9** わたしはその枝を多くして、これを美しくした。神の園にあるエデンの木は皆これをうらやんだ。

**エゼ 31:16** わたしがこれを穴に下る者と共に陰府に落す時、もろもろの国民をその落ちる響きのために、打ち震えさせる。そしてエデンのすべての木、レバノンのすぐれて美しいもの、すべて水に潤うものは、下の国で慰められる。

**エゼ 31:18** エデンの木のうちで、その栄と大いなることで、あなたはどれに似ているのか。あなたはどのように、エデンの木と共に、下の国に落され、つるぎで殺された者と共に、割礼を受けない者のうちに住む。これがパロとその民衆であると、主なる神は言われる」。

**エゼ 36:35** そこで人々は言う。『この荒れた地は、エデンの園のようになった。荒れ、滅び、くずれた町々は、堅固になり、人の住む所となった』と。

### (3) エデンも \_\_\_\_\_ であるためである。

**エゼ 28:13** あなたは神の園エデンにあって、もろもろの宝石が、あなたをおおっていた。すなわち赤めのう、黄玉、青玉、貴かんらん石、緑柱石、縞めのう、サファイヤ、ざくろ石、エメラルド。そしてあなたの象眼も彫刻も金でなされた。これらはあなたの造られた日に、あなたのために備えられた。

**エゼ 28:18** あなたは不正な交易をして犯した多くの罪によってあなたの聖所を汚したゆえ、わたしはあなたの中から火を出してあなたを焼き、あなたを見るすべての者の前であなたを地の上の灰とした。

## 2. 命の水の霊的な意味

### (1) 命の水はれ的に神様の \_\_\_\_\_ を象徴する。

**ヨハ 4:13-14** イエスは女に答えて言われた、「この水を飲む者はだれでも、またかわくであろう。しかし、わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水が、わきあがるであろう」。

**エペ 5:26** キリストがそうなさったのは、水で洗うことにより、言葉によって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、

### (2) この世の水は永遠ではない。

**ヨハ 4:18** あなたには五人の夫があったが、今のはあなたの夫ではない。あなたの言葉のとおりである」。

## 3. 命の水の出所

命の水の出所は最も \_\_\_\_\_ な所である。イエス様から命の水が出る。

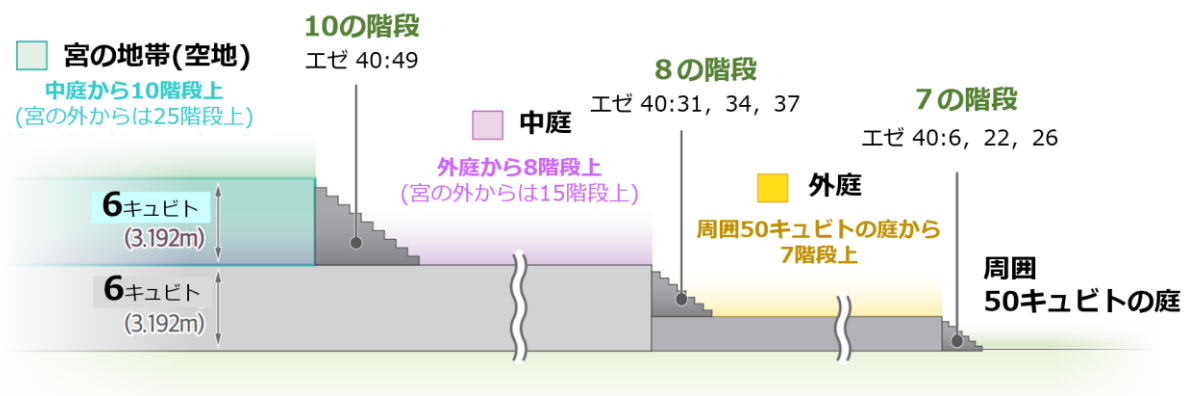
**ヨハ 4:13-14** イエスは女に答えて言われた、「この水を飲む者はだれでも、またかわくであろう。<sup>14</sup>しかし、わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水が、わきあがるであろう」。

**(1) エゼキエルの宮の命の水の出所は宮の敷居である。**

**エゼ 47:1** そして彼はわたしを宮の戸口に帰らせた。見よ、水が宮の敷居の下から、東の方へ流れていた。宮は東に面し、その水は、下から出て、祭壇の南にある宮の敷居の南の端から、流れ下っていた。

**エゼ 47:12** 川のかたわら、その岸のこなたかなたに、食物となる各種の木が育つ。その葉は枯れず、その実は絶えず、月ごとに新しい実がなる。これはその水が聖所から流れ出るからである。その実は食用に供せられ、その葉は薬となる」。

エゼキエルの宮で聖所の至聖所は最も \_\_\_\_\_ ところにある。



**(2) エデンの命の水の出所はエデンから最も \_\_\_\_\_ ところである。**

**創 2:8** 主なる神は東のかた、エデンに一つの園を設けて、その造った人をそこに置かれた。

① 「園」はヘブル語の「ガン」であり、「庭、 \_\_\_\_\_ ところ」という意味である。

**創 2:10** また一つの川がエデンから流れ出て園を潤し、そこから分れて四つの川となった。

② エデンで最も高いところはどこなのか？

**エゼ 28:13** あなたは神の園エデンにあって、もろもろの宝石が、あなたをおおっていた。すなわち赤めのう、黄玉、青玉、貴かんらん石、緑柱石、縞めのう、サファイヤ、ざくろ石、エメラルド。そしてあなたの象眼も彫刻も金でなされた。これらはあなたの造られた日に、あなたのために備えられた。

**エゼ 28:18** あなたは不正な交易をして犯した多くの罪によってあなたの聖所を汚したゆえ、わたしはあなたの中から火を出してあなたを焼き、あなたを見るすべての者の前であなたを地の上の灰とした。

ヘブル語原文では、エデンを「\_\_\_\_\_」と、\_\_\_\_\_で表現している。

ヘブル語では「ミクダシェカ」、英語では「your sanctuaries」である。

**創 2:16** 主なる神はその人に命じて言われた、「あなたは園のどの木からでも心のままに取って食べてよろしい。

### (3) 新しいエルサレムにおける命の水の出所は、神様と子羊の御座である。

**黙 22:1** 御使はまた、水晶のように輝いているいのちの水の川をわたしに見せてくれた。この川は、神と小羊との御座から出て、

神様と子羊の御座が最も高いところである。

**イザ 6:1** ウジヤ王の死んだ年、わたしは主が高くあげられたみくらに座し、その衣のすそが神殿に満ちているのを見た。

**エレ 17:12** 初めから高くあげられた栄えあるみ座は、われわれの聖所のある所である。

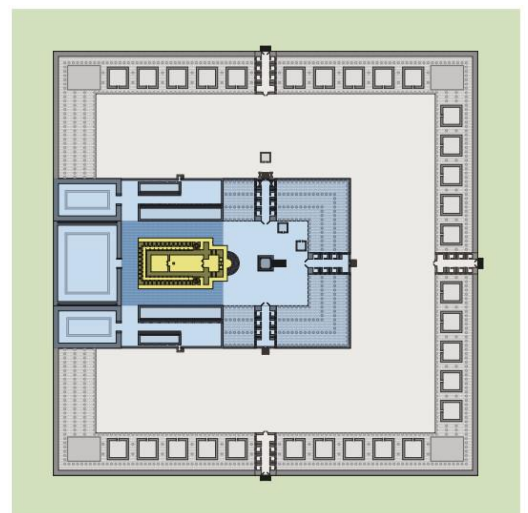
## 4. 命の水が経由したところ

### (1) エゼキエルの宮の命の水が経由したところは

\_\_\_\_\_である。

**エゼ 47:1** そして彼はわたしを宮の戸口に帰らせた。見よ、水が宮の敷居の下から、東の方へ流れていた。宮は東に面し、その水は、下から出て、祭壇の南にある宮の敷居の南の端から、流れ下っていた。

燔祭の祭壇はイエス様の十字架のしるしである。つまり、十字架がすべての救済史の中心であり、すべての宮の中心であることがわかる。



十字架のない救いは存在しない。

**コロ 1:10** 主のみこころにかなった生活をして真に主を喜ばせ、あらゆる良いわざを行って実を結び、神を知る知識をいよいよ増し加えるに至ることである

**コロ 2:15** そして、もろもろの支配と権威との武装を解除し、キリストにあって凱旋し、彼らをその行列に加えて、さらしものとされたのである。

## (2) エデンの命の水が経由したところは？

**創 2:9** また主なる神は、見て美しく、食べるに良いすべての木を土からはえさせ、更に園の中央に命の木と、善悪を知る木とをはえさせられた。

① 命の木は \_\_\_\_\_ を表す。

**ガラ 3:13** キリストは、わたしたちのためにのろいとなって、わたしたちを律法ののろいからあがない出して下さった。聖書に、「木にかけられる者は、すべてのろわれる」と書いてある。

**Iペテ 2:24** さらに、わたしたちが罪に死に、義に生きるために、十字架にかかって、わたしたちの罪をご自分の身に負われた。その傷によって、あなたがたは、いやされたのである。

② 十字架は信じる者には \_\_\_\_\_ であり、信じない者には \_\_\_\_\_ のような結果となる。

**Iコリ 1:18** 十字架の言は、滅び行く者には愚かであるが、救にあずかるわたしたちには、神の力である。

## (3) 新しいエルサレムの命の水が経由したのは大通りの中央である。

ただ、その左右には \_\_\_\_\_ があった。

**黙 22:1-2** 御使はまた、水晶のように輝いているいのちの水の川をわたしに見せてくれた。この川は、神と小羊との御座から出て、<sup>2</sup>都の大通りの中央を流れている。川の両側にはいのちの木があって、十二種の実を結び、その実は毎月みのり、その木の葉は諸国民をいやす。

## 5. 命の水が流れ着いたところ

(1) エゼキエルの宮の命の水が流れ着いたところは \_\_\_\_\_ である。

**エゼ 47:8** 彼はわたしに言った、「この水は東の境に流れて行き、アラバに落ち下り、その水が、よどんだ海にはいると、それは清くなる。



予言者ゼカリヤが見た命の水が流れ着いたところも海であった。

**ゼカ 14:8** その日には、生ける水がエルサレムから流れ出て、その半ばは東の海に、その半ばは西の海に流れ、夏も冬もやむことがない。

(2) エデンの命の水が流れ着いたところは \_\_\_\_\_ である。

**創 2:10-14** また一つの川がエデンから流れ出て園を潤し、そこから分れて四つの川となった。<sup>11</sup>その第の名はピソンといい、金のあるハビラの全地をめぐるもので、<sup>12</sup>その地の金は良く、またそこはブドラクと、しまめのうとを産した。<sup>13</sup>第二の川の名はギホンといい、クシの全地をめぐるもの。<sup>14</sup>第三の川の名はヒデケルといい、アッスリヤの東を流れるもの。第四の川はユフラテである。

ここで「地」はヘブル語の「エレツ」で、「 \_\_\_\_\_ 」だけがあがってくるところである。

**創 2:6** しかし地から泉がわきあがって土の全面を潤していた

**ヤコ 4:14** あなたがたは、あすのこともわからぬ身なのだ。あなたがたのいのちは、どんなものであるか。あなたがたは、しばしの間あらわれて、たちまち消え行く霧にすぎない。

(3) 新しいエルサレムの命の水は墮落した世に流れてゆく必要がない。

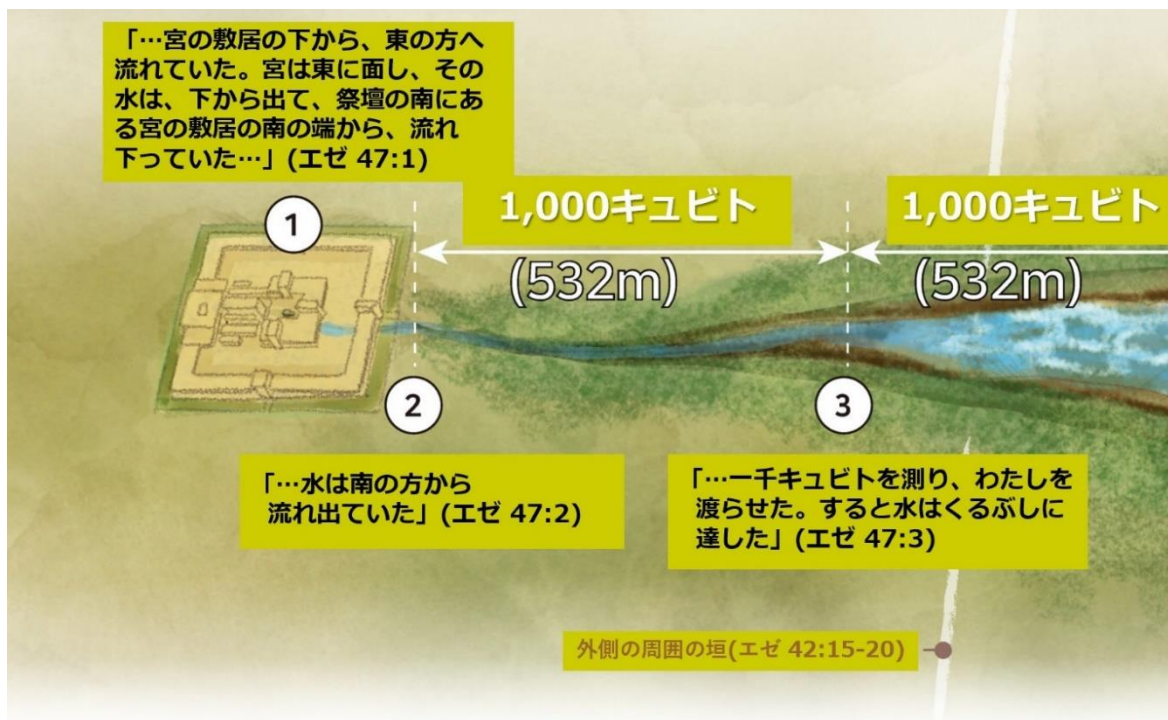
**黙 22:1-2** 御使はまた、水晶のように輝いているいのちの水の川をわたしに見せてくれた。この川は、神と小羊との御座から出て、都の大通りの中央を流れている。川の両側にはいのちの木があって、十二種の実を結び、その実は毎月みのり、その木の葉は諸国民をいやす。

## 6. 命の水の拡張と測り

(1) 最後の測りは命の水が \_\_\_\_\_ た川であった。

**エゼ 47:3-5** その人は東に進み、手に測りなわをもって一千キュビトを測り、わたしを渡らせた。すると水はくるぶしに達した。<sup>4</sup>彼がまた一千キュビトを測って、わたしを渡らせると、水はひざに達した。彼がまた一千キュビトを測って、わたしを渡らせると、水は腰に達した。<sup>5</sup>彼がまた一千キュビトを測ると、渡り得ないほどの川になり、水は深くなって、泳げるほどの水、越え得ないほどの川になった。

ここで測る行為と命の水が流れ出るとは密接に関わっていることがわかる。



## (2) 黙示録11章に測りと終わりの時期があらわれている。

- ① 聖なる町が \_\_\_\_\_ の間異邦人に踏みにじられる。

**黙 11:1-2** それから、わたしはつえのような測りざおを与えられて、こう命じられた、「さあ立って、神の聖所と祭壇と、そこで礼拝している人々とを、測りなさい。<sup>2</sup>聖所の外の庭はそのままにしておきなさい。それを測ってはならない。そこは異邦人に与えられた所だから。彼らは、四十二か月の間この聖なる都を踏みにじるであろう。

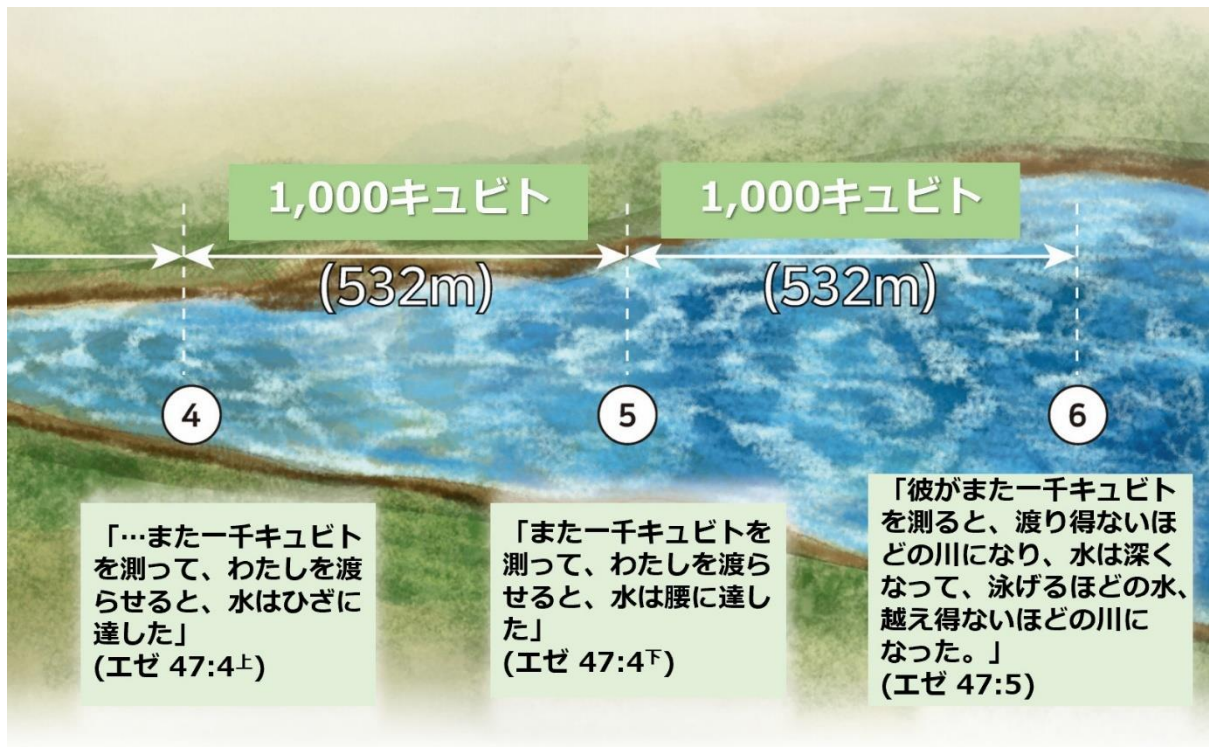
- ② ふたりの証人が \_\_\_\_\_ の間予言することを許される。

**黙 11:3** そしてわたしは、わたしのふたりの証人に、荒布を着て、千二百六十日のあいだ預言することを許そう」。

## 7. 測りの道具

- (1) エゼキエルの宮を測る道具は「 \_\_\_\_\_ 」である。

「さお」はヘブル語「カネ」で、70人聖書では「カラモス」と訳されている。



**エゼ 40:5** 見よ、宮の外の周囲に、かきがあり、その人の手に六キュビトの測りざおがあった。そのキュビトは、おのおの一キュビトと一手幅とである。彼が、そのかきの厚さを測ると、一さおあり、高さも一さおあった。

**(2) 黙示録で測りに使われる道具は「つえのような測りざお」である。**

**黙 11:1** それから、わたしはつえのような測りざおを与えられて、こう命じられた、「さあ立って、神の聖所と祭壇と、そこで礼拝している人々とを、測りなさい。

**黙 21:15-16** わたしに語っていた者は、都とその門と城壁とを測るために、金の測りざおを持っていた。<sup>16</sup>都は方形であって、その長さとは幅とは同じである。彼がその測りざおで都を測ると、一万二千丁であった。長さとは幅とは高さとは、いずれも同じである。

ここの「測りざお」もギリシャ語の「\_\_\_\_\_」である。

① 測りざおは神様の \_\_\_\_\_ をあらわす。

**Ⅲヨハ 1:13** あなたに書きおくりたいことはたくさんあるが、墨と筆とで書くことはすまい。

② この内容は文脈上「\_\_\_\_\_」である。

**黙 10:2** 彼は、開かれた小さな巻物を手に持っていた。そして、右足を海の上に、左足を地の上に踏みおろして、

**黙 10:8-9** すると、前に天から聞いてきた声が、またわたしに語って言った、「さあ行って、海と地との上に立っている御使の手に開かれている巻物を、受け取りなさい」。<sup>9</sup>そこで、わたしはその御使のもとに行って、「その小さな巻物を下さい」と言った。すると、彼は言った、「取って、それを食べてしまいなさい。あなたの腹には苦いが、口には蜜のように甘い」。

これは予言者の \_\_\_\_\_ に与えられた黙示のような御言葉である。

**エゼ 2:9-10** この時わたしが見ると、見よ、わたしの方に伸べた手があった。また見よ、手の中に巻物があった。<sup>10</sup>彼がわたしの前にこれを開くと、その表にも裏にも文字が書いてあった。その書かれていることは悲しみと、嘆きと、災の言葉であった。

**エゼ 3:1-4** 彼はわたしに言われた。「人の子よ、あなたに与えられたものを食べなさい。この巻物を食べ、行ってイスラエルの家語りなさい」。<sup>2</sup>そこでわたしが口を開くと、彼はわたしにその巻物を食べさせた。<sup>3</sup>そして彼はわたしに言われた、「人の子よ、わたしがあなたに与えるこの巻物を食べ、これであなたの腹を満たしなさい」。わたしがそれを食べると、それはわたしの口に甘いこと蜜のようであった。<sup>4</sup>彼はまたわたしに言われた、「人の子よ、イスラエルの家に行って、わたしの言葉を語りなさい」。

## 結論：測りと終わりの信徒の使命

(1) エゼキエルの宮の測りは、各自の \_\_\_\_\_ を測ることである。

**エゼ 43:10** 人の子よ、宮と、その外形と、設計とをイスラエルの家に示せ。彼らはその悪を恥じるであらう。

(2) 神様はエゼキエルを通してすべての \_\_\_\_\_ 民を測ろうとされたのである。

エゼ 43:10の「\_\_\_\_\_」は「\_\_\_\_\_」を指す。

**ロマ 2:28-29** というのは、外見上のユダヤ人がユダヤ人ではなく、また、外見上の肉における割礼が割礼でもない。<sup>29</sup>かえって、隠れたユダヤ人がユダヤ人であり、また、文字によらず霊による心の割礼こそ割礼であって、そのほまれは人からではなく、神から来るのである。

**ガラ 3:7** だから、信仰による者こそアブラハムの子であることを、知るべきである

**ガラ 3:29** もしキリストのものであるなら、あなたがたはアブラハムの子孫であり、約束による相続人な

のである。

- ① 黙示録10章と11章の構造は、\_\_\_\_\_を全世界に伝えることが\_\_\_\_\_  
であることをあらわしている。

**黙 10:11** その時、「あなたは、もう一度、多くの民族、国民、国語、王たちについて、預言せねばならない」と言う声がした。

**黙 11:1** それから、わたしはつえのような測りざおを与えられて、こう命じられた、「さあ立って、神の聖所と祭壇と、そこで礼拝している人々とを、測りなさい。

- ② 「\_\_\_\_\_」を全世界のイスラエルの民に見せ、彼らを\_\_\_\_\_使命がある。



## 荒野で数えられた、生きている者の系図

民 1:1-3、26:1-2

イスラエルの民がエジプトを出てカナンに入るまでの路程は、信徒が永遠なる安息の世界である天国に入るまでの救済史をあらわしている。

イスラエルの民はカナンに向かって進んでいたが、全員がカナンに入れたわけではない。第一世代のうちヨシュアとカレブだけが生きてカナンに入り、他は全員荒野で死んでしまった(民14:38)。

荒野では何があったのか、そして最後まで生き残る生存の秘訣は？

### 1. 荒野で生き残った者を計数

#### (1) 荒野で民を数えた

##### ① 民数記は荒野で民の人数を数えて記録した本である。

民数記：「民の人数を数えた」本

- ・ヘブル語「ベミドバル」：「荒野で」
- ・ギリシャ語「アリティモイ」：「数字(numbers)」

民数記のポイントは二回にわたって兵士を数えたこと。

**民 1:46** その数えられた者は合わせて六十万三千五百五十人であった。

**民 26:51** これらはイスラエルの子孫の数えられた者であって、六十万一千百三十人であった。

##### ② 終わりににも神様が \_\_\_\_\_ を数えられる。

**詩 87:6** 主がもろもろの民を登録される時、「この者はかしこに生れた」とするされる。

**黙 3:5** 勝利を得る者は、このように白い衣を着せられるのである。わたしは、その名をいのちの書から消すようなことを、決してしない。また、わたしの父と御使たちの前で、その名を言いあらわそう。

**黙 7:4** わたしは印をおされた者の数を聞いたが、イスラエルの子らのすべての部族のうち、印をおされた者は十四万四千人であった。

## (2) 兵士を数えたが、これは生き残った者の系図ともいえる。

### ① 第一次の兵士計数

**民 1:2-3** 「あなたがたは、イスラエルの人々の全会衆を、その氏族により、その父祖の家によって調査し、そのすべての男子の数の数を、ひとりびとり数えて、その総数を得なさい。イスラエルのうちで、すべて戦争に出ることのできる二十歳以上の者を、あなたとアロンとは、その部隊にしたがって数えなければならない。

**民 1:18** 二月一日に会衆をことごとく集めたので、彼らはその氏族により、その父祖の家により、その名の数にしたがって二十歳以上のものが、ひとりびとり登録(「ヤレド」：「トレダ」の語源)した。

### ② 第二次の兵士計数

**民 26:2** 「イスラエルの人々の全会衆の総数をその父祖の家にしたがって調べ、イスラエルにおいて、すべて戦争に出ることのできる二十歳以上の者を数えなさい」。

**民 26:53-55** 「これらの人々に、その名の数にしたがって地を分け与え、嗣業とさせなさい。大きい部族には多くの嗣業を与え、小さい部族には少しの嗣業を与えなさい。すなわち数えられた数にしたがって、おのおのの部族にその嗣業を与えなければならない。ただし地は、くじをもって分け、その父祖の部族の名にしたがって、それを継がなければならない。

## 2. 荒野での生活初期の一次計数の背景

＊時期と場所：BC1445年2月1日 シナイの荒野から出発する直前

**民 1:1** エジプトの国を出た次の二月一日に、主はシナイの荒野において、会見の幕屋で、モーセに言われた、

### (1) 計数の前に、偶像崇拜で3千人が死んでいた。

#### ① モーセが来ないうちに金の子牛造った。

**出 32:1** 民はモーセが山を下ることのおそいを見て、アロンのもとに集まって彼に言った、「さあ、わたしたちに先立って行く神を、わたしたちのために造ってください。わたしたちをエジプトの国から導きのぼった人、あのモーセはどうなったのかわからないからです」。

**出 32:6** そこで人々はある朝早く起きて燔祭をささげ、酬恩祭を供えた。民は座して食い飲みし、立って戯れた。(原語「チャハク」：からかう、愛撫する、楽しむ)

**出 32:25** モーセは民がほしいままにふるまったのを見た。アロンは彼らがほしいままにふるまうに任せ(原語「パラ」:裸になる)、敵の中に物笑いとなったからである。

② 一晩で3千人がレビ人の剣に倒れた。

**出 32:28** レビの子たちはモーセの言葉どおりにしたので、その日、民のうち、おおよそ三千人が倒れた。

(2) 死の根本的原因是は\_\_\_\_\_を忘れてしまったことである。

① 神様はイスラエルの民とシナイ山の契約を結ばれた。

**出 24:3-8** モーセはきて、主のすべての言葉と、すべてのおきてとを民に告げた。民はみな同音に答えて言った、「わたしたちは主の仰せられた言葉を皆、行います」。<sup>4</sup>そしてモーセは主の言葉を、ことごとく書きしるし、朝はやく起きて山のふもとに祭壇を築き、イスラエルの十二部族に従って十二の柱を建て、<sup>5</sup>イスラエルの人々のうちの若者たちをつかわして、主に燔祭をささげさせ、また酬恩祭として雄牛をささげさせた。<sup>6</sup>その時モーセはその血の半ばを取って、鉢に入れ、また、その血の半ばを祭壇に注ぎかけた。<sup>7</sup>そして契約の書を取って、これを民に読み聞かせた。すると、彼らは答えて言った、「わたしたちは主が仰せられたことを皆、従順に行います」。<sup>8</sup>そこでモーセはその血を取って、民に注ぎかけ、そして言った、「見よ、これは主がこれらのすべての言葉に基いて、あなたがたと結ばれる契約の血である」。

② 契約を忘れてしまうと信仰も変わってしまう。

**詩 50:22** 神を忘れる者よ、このことを思え。さもないとわたしはあなたをかき裂く。  
そのときだれも助ける者はないであろう。

### 3. 荒野での生活末期における第二次計数の背景

\*時期と場所：BC1407年カナンに入る直前、モアブの平地で

**民 26:1** 疫病の後、主はモーセと祭司アロンの子エレアザルとに言われた、

(1) 計数の前には淫行事件により24,000人が死んだ。

① イスラエルの民がモアブの娘たちと淫行の罪を犯した。



民 25:1 イスラエルはシツテムにとどまっていたが、民はモアブの娘たちと、みだらな事を始めた。

### \*バラムの策略

黙 2:14 しかし、あなたに対して責むべきことが、少しばかりある。あなたがたの中には、現にバラムの教を奉じている者がある。バラムは、バラクに教え込み、イスラエルの子らの前に、つまずきになるものを置かせて、偶像にささげたものを食べさせ、また不品行をさせたのである。

② この事件により24,000人が疫病で死ぬことになる。

民 25:9 しかし、その疫病で死んだ者は二万四千人であった。

(2) 死の根本的原因是は \_\_\_\_\_ によりすぎることはできなかったためである。

① 契約の民はただ主の御言葉によりすぎるべきである。

申 30:20 すなわちあなたの神、主を愛して、その声を聞き、主につき従わなければならない(原語「ダバク」)。そうすればあなたは命を得、かつ長く命を保つことができ、主が先祖アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓われた地に住むことができるであろう」。

② しかし、イスラエルの民はペオルのバアルにつき従っていた。

民 25:3 イスラエルはこうしてペオルのバアルにつきしたがったので(原語「チャマド」)、主はイスラエルにむかって怒りを発せられた。

### \*兵士を計数したことの救済史的教訓

第一次の兵士計数	第二次の兵士計数
荒野での生活初期/シナイの荒野	荒野での生活末期/モアブの平地
金の子牛を崇拜し 3,000人が死んだあと計数	モアブの娘たちと淫行し 24,000人が疫病で死んだあと計数

霊肉共に純潔な者だけがカナンに入れる。

**Ⅰコリ 10:8** また、ある者たちがしたように、わたしたちは不品行をしてはならない。不品行をしたため倒された者が、一日に二万三千人もあった。

**Ⅰコリ 10:11** これらの事が彼らに起ったのは、他に対する警告としてであって、それが書かれたのは、**世の終りに臨んでいるわたしたちに対する訓戒**のためである。

**黙 14:4** 彼らは、**女にふれたことのない者である。彼らは、純潔な者**である。そして、小羊の行く所へは、どこへでもついて行く。彼らは、神と小羊とにささげられる初穂として、人間の中からあがなわれた者である。

**結論：生存の秘訣 - 神様を \_\_\_\_\_ 従わなければならない。**

**申 4:4** しかし、あなたがたの神、**主につき従った(原語「ダバク」)**あなたがたは皆、きょう、生きながらえている。

**民 32:12** ただケニズびとエフンネの子カレブとヌンの子ヨシュアとはそうではない。このふたりは**全く(原語「マレ」)**主に従ったからである。





2021 夏季大聖会 講義 3

## シナイ山契約の驚くべき慈しみ

出 24:1-8

シナイ山契約はイスラエルの民がエジプトから出た後、シナイの荒野に到着し結んだ契約である。この契約は神様がアブラハムと結んだ \_\_\_\_\_ の結果でありながら同時に神様が契約の民をつくっていかれ聖別させる驚くべき救済史的経緯をみせている。

**創 15:13-14** 時に主はアブラムに言われた、「あなたはよく心にとめておきなさい。あなたの子孫は他の国に旅びととなって、その人々に仕え、その人々は彼らを四百年の間、悩ますでしょう。<sup>14</sup>しかし、わたしは彼らが仕えたその国民をさばきます。その後かれらは多くの財産を携えて出て来るでしょう。

**出 19:5-6** それで、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るならば、あなたがたはすべての民にまさって、わたしの宝となるであろう。全地はわたしの所有だからである。<sup>6</sup>あなたがたはわたしに対して祭司の国となり、また聖なる民となるであろう』。これがあなたのイスラエルの人々に語るべき言葉である」。

### 1. \_\_\_\_\_ で宣布された契約

シナイ山契約は神様が炎の中で全民に向かい \_\_\_\_\_ 宣布された契約である。

このような契約は人類の歴史上空前絶後の最初の契約であった。

**出 20:1** 神はこのすべての言葉を語って(דבַר, 'ダバル')言われた

**申 4:32-33** 試みにあなたの前に過ぎ去った日について問え。神が地上に人を造られた日からこのかた、天のこの端から、かの端までに、かつてこのように大いなる事があったであろうか。このようなことを聞いたことがあったであろうか。<sup>33</sup> 火の中から語られる神の声(קוֹל)をあなたが聞いたように、聞いてなお生きていた民がかつてあったであろうか。

シワンの月1日にシナイの荒野に到着し、神様は契約締結を提案された。そしてイスラエルの民を清められ、衣服を洗い3日間を待たせた。

**出 19:10-11** 主はモーセに言われた、「あなたは民のところに行って、きょうとあす、彼らをきよめ、彼らにその衣服を洗わせ、<sup>11</sup>三日目までに備えさせなさい。三日目に主が、すべての民の目の前で、シナイ山に下るからである。

全ての清潔の準備が整ったシワンの月5日、神様はモーセをよばれ、民たちが絶対にシナイ山に近づかないよう命じられた。

**出 19:21** 主はモーセに言われた、「下って行って民を戒めなさい。民が押し破って、主のところに来て、見ようとし、多くのものが死ぬことのないようにするためである。

**出 19:24** 主は彼に言われた、「行け、下れ。そしてあなたはアロンと共に登ってきなさい。ただし、祭司たちと民とが、押し破って主のところに登ることのないようにしなさい。主が彼らを打つことのないようにするためである」。

このような契約締結の日程は神様の完璧な時間割に従って時を待たれる神様を思い浮かばせる。

**伝 3:1** 天が下のすべての事には季節があり、すべてのわざには時がある。

神様はシワンの月6日まで待たれたが、この時はエジプトから出て50日になる日で、旧約の節季だと刈入れの祭、初めての実を神様に捧げる日を意味する。

これは、エジプトで神様を忘れて生きていた民たちに神様の声を聞かせることによって契約の民の初めの実になることを願われた神様の深い愛が込められている。

## 2. \_\_\_\_\_で具体化された契約

シナイ山契約は記録で具体化された初めての契約である。十戒は\_\_\_\_\_に神様が直筆で記された。また、神様がモーセに伝えたおきても\_\_\_\_\_として記されていた。

**申 9:10** 主は神の指をもって書きしるした石の板二枚をわたしに授けられた。その上には、集会の日に主が山で火の中から、あなたがたに告げられた言葉が、ことごとく書いてあった。

**出 24:4** そしてモーセは主の言葉を、ことごとく書きしるし、朝はやく起きて山のふもとに祭壇を築き、イスラエルの十二部族に従って十二の柱を建て、

**出 24:7** そして契約(תְּבַרְכֵנוּ הַבְּרִית)の書を取って、これを民に読み聞かせた。すると、彼らは答えて言った、「わたしたちは主が仰せられたことを皆、従順に行います」。

**出 20:18-19** 民は皆、かみなりと、いなずまと、ラッパの音と、山の煙っているのを見た。民は恐れおののき、遠く離れて立った。<sup>19</sup> 彼らはモーセに言った、「あなたがわたしたちに語ってください。わたしたちは聞き従います。神がわたしたちに語られぬようにしてください。それでなければ、わたしたちは死ぬでしょう」。

神様の契約が板二枚に刻まれ、契約書に記されたということは、その契約が子孫代々に伝えられるべきで、\_\_\_\_\_ 保たれ守られなければならないことを意味する。

荒野第2世代がモアブの平野に到着したとき、モーセは記されたみ言葉である十戒と律法の書を再講論し、カナン地に入る荒野2世代を信仰で武装させ神様の契約を再確認させた。

**申 1:5** すなわちモーセはヨルダンの向こうのモアブの地で、みずから、この律法の説明に当たった、そして言った、

**申 29:1** これは主がモーセに命じて、モアブの地でイスラエルの人々と結ばせられた契約の言葉であって、ホレブで彼らと結ばれた契約のほかのものである。

### 3. \_\_\_\_\_ を対象にした契約

神様は契約締結のためにモーセをシナイ山によばれ、「イスラエルの民へ告げなさい」と語られた。以前までは契約の対象が個人や家庭といった小規模の集まりで限られていたが、シナイ山契約からはその対象がイスラエル \_\_\_\_\_ へ拡張したということを示す。

**出 19:3** さて、モーセが神のもとに登ると、主は山から彼を呼んで言われた、「このように、ヤコブの家に言い、イスラエルの人々に告げなさい、

出 20:2では、神様は契約の民として選ばれたイスラエルの民たちを奴隷としたエジプトの地から導き出した我が民と表現している。

**出 20:2** わたしはあなたの神、主であって、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出した者である。

**黙 11:8** 彼らの死体はソドムや、エジプトにたとえられている大いなる都の大通りにさらされる。彼らの主も、この都で十字架につけられたのである。

**ロマ 2:28-29** というのは、外見上のユダヤ人がユダヤ人ではなく、また、外見上の肉における割礼が割礼でもない。<sup>29</sup>かえって、隠れたユダヤ人がユダヤ人であり、また、文字によらず霊による心の割礼こそ割礼であって、そのほまれは人からではなく、神から来るのである。

シナイ山の契約をたてられた対象を「きょう、ここにわれわれと共にいない者とも結ぶのである」と語られ、契約の対象が後に生まれるイスラエルの民の子孫、またイエス・キリストの福音の中で登場する霊的イスラエルまで含まれているということを教えている。

**申 29:14-15** わたしはただあなたがただけ、この契約と誓いとを結ぶのではない。<sup>15</sup> きょう、ここで、われわれの神、主の前にわれわれと共に立っている者ならびに、きょう、ここにわれわれと共にいない者とも結ぶのである。

**ガラ 3:29** もしキリストのものであるなら、あなたがたはアブラハムの子孫であり、約束による相続人なのである。

## 結論：シナイ山契約は続けて確認されるべきである。

神様はモアブの平野でシナイ山契約の再講論及び再確認させることによって、荒野2世代を神様の契約の民とさせてくださった。

**申 5:2-3** われわれの神、主はホレブで、われわれと契約を結ばれた。<sup>3</sup> 主はこの契約をわれわれの先祖たちとは結ばず、きょう、ここに生きながらえているわれわれすべての者と結ばれた。

そしてモーセは荒野2世代がカナンの地に入った後、むかえる暗鬱な歴史を心掛け、そのような状況を防ぎ、勝ち抜くことのできる三つの具体的な命令と方法を申命記32:7に提示している。

**申 32:7** いにしえの日を覚え、代々の年を思え。あなたの父に問え、彼はあなたに告げるであろう。長老たちに問え、彼らはあなたに語るであろう。

シナイ山契約を続けて確認していくとき、神様は私たちの神様となり、私たちは神様の民となる働きがあると信じよう。

**レビ 26:11-12** わたしは幕屋をあなたがたのうちに建て、心にあなたがたを忌みきらわないであろう。

<sup>12</sup> わたしはあなたがたのうちに歩み、あなたがたの神となり、あなたがたはわたしの民となるであろう。



## 2021 夏季大聖会 講義 4

# 出エジプトからカナンまでの路程の救済史的意味

申 8:1-10

申命記はイスラエルの民たちがヨルダン川を渡る直前最後にとどまったモアブの平野で、モーセが自分の死を目の前に語った告別説教であり、自分の民に向け最後に呼びかけたみ言葉である。このみ言葉の中で神様がイスラエルの民に荒野40年のつらい道のりを歩ませた神様の本心がうかがえる。結局、祝福をくださるためであった(申 8:15-16)。

**申 8:15-16** あなたを導いて、あの大きな恐ろしい荒野、すなわち火のへびや、さそりがいて、水のない、かわいた地を通り、あなたのために堅い岩から水を出し、<sup>16</sup> 先祖たちも知らなかったマナを荒野であなたに食べさせられた。それはあなたを苦しめ、あなたを試みて、ついにはあなたをさいわいにするためであった。

では、神様がイスラエルを通じて出エジプトからカナン地までの路程全体を歩ませた本心は何か。これもやはり結局は \_\_\_\_\_ をくださるためである。人類に神様の救いの摂理を悟らせ究極的に \_\_\_\_\_ に入らせるためである。

## 1. イスラエルの民族が歩んだ出エジプトからカナンの地までの路程

(1) この中には神様の救いの御働きの全過程が \_\_\_\_\_ されている。

(2) 神様がイスラエル人を選ばれ、彼らの歴史に介入され彼らを導かれた理由は、彼らの歩みを通して全人類に向けた神様の \_\_\_\_\_ を聞かせるためであった(参考・申 7:6-7)。

**申 7:6-7** あなたはあなたの神、主の聖なる民である。あなたの神、主は地のおもてのすべての民のうちからあなたを選んで、自分の宝の民とされた。<sup>7</sup> 主があなたがたを愛し、あなたがたを選ばれたのは、あなたがたがどの国民よりも数が多かったからではない。あなたがたはよろずの民のうち、もっとも数の少ないものであった。



## 2. 事実上、聖書はこの話を繰り返している。

- (1) \_\_\_\_\_ にそって \_\_\_\_\_ 状況の中で続けて繰り返している  
(イザ 46:10、伝 1:9-10, 3:15)。

**イザ 46:10** わたしは終りの事を初めから告げ、まだなされない事を昔から告げて言う、「わたしの計りごとは必ず成り、わが目的をことごとくなし遂げる」と。

**伝 1:9-10** 先にあったことは、また後にもある、先になされた事は、また後にもなされる。日の下には新しいものはない。<sup>10</sup> 「見よ、これは新しいものだ」と言われるものがあるか、それはわれわれの前にあった世々に、すでにあったものである。

**伝 3:15** 今あるものは、すでにあったものである。後にあるものも、すでにあったものである。神は追いやられたものを尋ね求められる。

- (2) このすべての内容はやがて \_\_\_\_\_ の中で成就された(ヘブ 1:1-2, ヨハ 19:30)。

**ヘブ 1:1-2** 神は、むかしは、預言者たちにより、いろいろな時に、いろいろな方法で、先祖たちに語られたが、<sup>2</sup>この終りの時には、御子によって、わたしたちに語られたのである。神は御子を万物の相続者と定め、また、御子によって、もろもろの世界を造られた。

**ヨハ 19:30** すると、イエスはそのぶどう酒を受けて、「すべてが終った」と言われ、首をたれて息をひきとられた。

- (3) イエス・キリストを通じて成就されたこの話が、 \_\_\_\_\_ になり全世界に伝えられ、  
今日私たちにも 語られて各個人の信仰に \_\_\_\_\_ されている(マタ 28:19-20)。

**マタ 28:19-20** それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し、<sup>20</sup>あなたがたに命じておいたいっさいの事を守るように教えよ。見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである」。

## 3. 時代ごとに啓示された神様の救いの働きの話

- (1) アダム時代：ちりの存在 → \_\_\_\_\_ の存在 → 霊的な存在(創 2:7, I コリ 15:44)。

**創 2:7** 主なる神は土のちりで人を造り、命の息をその鼻に吹き入れられた。そこで人は生きた者となった。

**I コリ 15:44** 肉のからだでまかれ、霊のからだによみがえるのである。肉のからだがあるのだから、霊のからだもあるわけである。

- ① ちりの存在は神様との \_\_\_\_\_ ができない存在である。
- ② 生きた者の存在は神様から \_\_\_\_\_ を吹き入れられ、神様と霊的交わりができる存在であり、 \_\_\_\_\_ で一定の期間養育と訓練を受ける。
- ③ 霊的な存在は生きた者の存在から \_\_\_\_\_ をとり、永遠の命の存在として完成された存在である。

**(2) ノアの時代：罪があふれた世界 → 救いの \_\_\_\_\_ 運動 → 洪水後、新しい世界**

- ① 終りの救いの運動と裁きを通じた \_\_\_\_\_ の到来を予言している(マタ 24:37-39)。

**マタ 24:37-39** 人の子の現れるのも、ちょうどノアの時のようであろう。<sup>38</sup>すなわち、洪水の出る前、ノアが箱舟にはいる日まで、人々は食い、飲み、めとり、とつぎなどしていた。<sup>39</sup>そして洪水が襲ってきて、いっさいのものをさらって行くまで、彼らは気がつかなかった。人の子の現れるのも、そのようであろう。

- ② 洪水後、新しい世界は週末的裁き以降到来する \_\_\_\_\_ を予言している(黙 21:1、5)。

**黙 21:1** わたしはまた、新しい天と新しい地とを見た。先の天と地とは消え去り、海もなくなってしまった。

**黙 21:5** すると、御座にいますかたが言われた、「見よ、わたしはすべてのものを新たにする」。また言われた、「書きしるせ。これらの言葉は、信ずべきであり、まことである」。

**(3) アブラハムの時代：ガルデアのウル → カナンの地 → \_\_\_\_\_**

- ① アブラハムの一人の個人の信仰が \_\_\_\_\_ ていく過程をみせてくれる。
- ② 神様から \_\_\_\_\_ 信仰がどんなものであるかを悟らせる。

**(4) イスラエルの国家時代：罪の都、エジプト → \_\_\_\_\_ の訓練 → 約束の地、カナン**

- ① 旧約的概念の \_\_\_\_\_ が実現される原理をみせてくれる。
- ② 旧約的概念の神の国が最もよく実現したときは、 \_\_\_\_\_ の時代であった。

(5) 新約時代： 罪人 → 教会運動 → \_\_\_\_\_

- ① 新約の教会運動の目的は罪人を悔い改めさせ、\_\_\_\_\_とさせることである。
- ② 新約的概念の神の国はマタイ13章の7つの\_\_\_\_\_の比喻によくあらわれている。

(6) 終末の時代： 主の信徒たち → 終末の時の\_\_\_\_\_教会運動 → 新しい天と新しい地に入る  
神の民の共同体

- ① 終末的救いの運動のために終末の\_\_\_\_\_教会がたてられる。
- ② 終末の霊的な教会運動は義人の中で\_\_\_\_\_をえり分ける働きである(マタ 13:49)。

**マタ 13:49** 世の終りにも、そのとおりになるであろう。すなわち、御使たちがきて、  
義人のうちから悪人をえり分け、

結論的に、

選民イスラエルが経験した出エジプトからカナン地までの路程は、  
この地にたてられた\_\_\_\_\_運動の原理をみせてくれる一方、  
一人の個人の\_\_\_\_\_の過程もみせてくれる。

(1) エジプト生活： 人が罪惡の世の中に生まれ、神様によばれる前、\_\_\_\_\_の人生をいきていく  
姿の原理をみせてくれる。

(2) 荒野生活： 召しをうけた信徒たちが集まり、信仰としての訓練を受ける\_\_\_\_\_の原理を  
みせてくれる。み言葉と祈りを通じて\_\_\_\_\_ために訓練しなければならない( I テモ 4:5)。

(3) カナンの征服運動： 教会生活を通じて訓練をうけた信徒たちが全世界的にみ言葉を伝える  
\_\_\_\_\_運動の原理をみせてくれる。

なので選民イスラエルの民が歩んだ信仰の歩みを通じて私たち各自の信仰をみつめることができるよ  
うにならなければならない。

現在、各自の信仰はどこにおかれているだろうか。

時代的に私たちに要求される信仰は、カナン地征服に必要な信仰である。

もし自分の生活が未だに世俗的なものに縛られ、教会生活がしっかりできていないようであれば、エジプト的信仰から抜け出せていないのである。もし、信仰が未だに確かでなく信仰が左右されるなら、\_\_\_\_\_的信仰から抜け出せていないのである。カナン征服の為には\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_信仰が必要であるということを心にとめよう。





2021 夏季大聖会 講義 5

## バビロン捕囚と帰還に盛り込まれた終末的救済経綸

イザ 10:20-23、黙 18:1-6

旧約聖書において重要な出来事があるとすれば、\_\_\_\_\_と南ユダの\_\_\_\_\_であろう。二つの出来事ともすべて終わりのときの裁きと救いを前もってみせているという点(参考- I コリ 10:11、黙 18:1-6)で再臨を待つわれわれ信徒は必ずその救いの経綸を悟り、最後の時を備えなければならない。本講義ではバビロン捕囚と帰還に込められた終末的な救済経綸をに注目してみよう。

### 1. ダビデの契約の観点からみたバビロン捕虜と帰還の歴史

神様がダビデ契約を通じて「神の国を永遠に堅くたてられる」(サム下 7:13、代下 17:11)と契約されたのにも関わらず、南ユダはバビロンによって約20年間3回にわたって捕虜として捕らわれていき、ソロモン聖殿も完全に破壊されてしまった。

#### (1) ダビデ契約に基づいたバビロン捕虜の歴史

- ① **経過** : ダビデ王朝はBC605年、597年、586年と3回にかけ王と貴族と兵士、そして民たちがバビロンへ捕虜として捕らわれていき、聖殿は完全に破壊されることによって384年(BC970-586年)目に滅びてしまった。
- ② **原因** : ダビデ契約は「前提 \_\_\_\_\_ のある契約」だった。「もし彼が罪を犯すならば、わたしは人のつえと人の子のむちをもって彼を懲らす。」(サム下 7:14)という条項通り、神様は南ユダの罪(偶像崇拜と安息日、安息年を犯した罪)がエルサレムとユダ全体に溢れていることを見られながらも続けて耐えられ、多くの預言者たちをしきりに送り、数多く叱り、切実に顧みられたが(エレ 29:19)、かたくななイスラエルの民は最後まで聞き入れずその罪が元に戻せないくらい満ち溢れ、やがて南ユダを罰せられるためにバビロンというつえと鞭を用いられたのである(レビ 18:27-28)。

## (2) ダビデ契約に基づいたバビロン帰還の歴史

- ① **経過**: 神様はバビロンを裁かれ(エレ 50:13-15)、ペルシャ王クロスの心を動かし、捕虜解放の勅令を下すよう働かれたことによって(代下 36:22-23、ゼカ 1:1-4)BC537年、458年、444年の第1～3次にかけて帰還した。
- ② **原因**: ダビデ契約は罪に対する懲罰があるにも関わらず、神様の恵みと慈悲は奪わず、再び回復させてくださるといった永久なる契約であったので(サム下 7:15-16、代上 17:13-14)、ユダの民たちは契約の地に再び戻ってくることができたのである。

## (3) 救済史的教訓

南ユダの滅亡によって神様が選ばれた民たちの贖いの働きは断絶するようにみえたが、契約の民に対する神様の愛は決して断たれることなく(ロマ 11:29)、強い懲罰を通じて悔い改めを促し、再び神様の救いの働きを担当する聖なる民として生まれ変えさせたのである(エレ 29:11-13)。

## 2. 捕虜期に活動した預言者たちのみ言葉宣布を通じた回復運動

神様はご自分の民をバビロンの捕虜として送られたが、70年間という長い期間、靈的に暗闇の状態のまま放って置かれず、預言者たちをつかわし、み言葉を送って徹底的に悔い改めさせ新しい民とさせたのである。

### (1) 預言者エレミヤのメッセージ

- ① 神様は預言者エレミヤを通じて合計7回(①BC608年、エレ 26:1 / ②BC605年、エレ 25:1-14 / ③BC597年、エレ 29:1-2 / ④BC593年、エレ 27:1、28:1 / ⑤BC588年、エレ 27:12-22 / ⑥BC587年、エレ 37:1-10 / ⑦BC586年、エレ 42:7-17)にわたってバビロンに降伏することを命じられた。
- ② バビロン捕囚70年間は南ユダの罪に対して神様が定められた懲罰の期間(エレ25:11-12, 29:10)であるので、必ずバビロン王のくびきを負わなければならないという意味であり、そのことだけがイスラエルの民が神様の定められた時までその命を保つ唯一の道であったためである(エレ2

9:5-7, 11-13)。

③ 偽りの預言者ハナニヤは「神様がバビロンの王のくびきを砕いた」と偽りの預言をしたが(エレ 28:1-4)、神様はエレミヤを通じて「木のくびきの代わりに鉄のくびきをこの万国民の首に置いて、バビロンの王ネブカデネザルに仕えさせる」と語られた(エレ 28:13-14)。ハナニヤは偽りの預言をしてから2か月して死に(エレ 28:17)、不従順した王は民たちが非常に悪くて食べられない悪いいちじくとして例えられたように(エレ 24:8)つるぎとききん、疫病を彼らに送り、悪くて食べられない腐ったいちじくのようにしてしまうと呪いを宣布された(エレ 29:17)。

④ 預言者エレミヤのみ言葉に従順し、王の中で唯一バビロン王に降伏した \_\_\_\_\_ はネブカデネザルの息子エビルメロダク元年に捕虜として捕らわれ37年して獄屋の衣を脱ぎ、たえず日々の必要なものを王から賜わるなどその位が回復された(王下 25:27-30、エレ 52:31-34)。列王紀とエレミヤの書の最後にエホヤキンの回復を記すことによって、南ユダの民たちも悟り悔い改め、最後まで耐え忍ぶ時、必ず回復させてくださると希望を与えられた。

## (2) 預言者エゼキエルのメッセージ

① エレミヤが本国で働きをする間、エゼキエルはバビロン第2次捕虜として捕らわれて行ったが、天が開き神様が捕虜民の中で共にされ「そこ」で相変わらず働かれているということを見せてくださった(エゼ 1:1-3)。

② エゼキエルを通して差し迫ってきたユダの滅亡(第3次バビロン捕囚)を \_\_\_\_\_ みせたのは、神様のみ言葉を信じさせるための最後かつ最善の方法であった。

③ 枯れた骨を生かす幻(エゼ 37:1-14)とエゼキエルの宮と主の町、アドナイ・シャマ(エゼ 40-48章)は契約の民が必ず回復しバビロンの圧政から救われエルサレムに移されることによって酷い患難の中でも信仰を持たなければならない希望のメッセージを伝えた。



### (3) 預言者ダニエルのメッセージ

- ① 預言者ダニエルは第1次バビロン捕囚のとき捕らわれて行き(BC605年、ダニ 1:1)、第1次バビロン捕囚の帰還のとき(BC538年、ダニ 1:21)が過ぎ、クロス3年(BC536年、ダニ 10:1)まで捕虜期全般にかけバビロンとメデア、ペルシャの総監として活躍(ダニ 6:28)、当時世界の情勢を予言し捕虜帰還において大きな影響を及ぼした。
- ② ダニエルの三人の友人は最後までネブカデネザルの金の像に拝むことを拒み、通常より7倍も熱い炉の中に縛って投げ込まれたが、驚くべきことに四人の者がなわめなしに、火の中を歩いており、なんの害をも受けていなかった(ダニ 3:1-23)。第3次バビロン捕囚によって南ユダが完全に滅んだ直後起きたこの出来事は、南ユダの滅亡が決して神様の力が足りなくて起きた出来事ではなく、南ユダは罰せられ苦難の中に投げ込まれたがその現場には神様が必ず共にされ、やがてダニエルの三人の友人たちのように救ってくださることを約束されたのである。

### 3. 残された者たちを通じた救済的経緯の成就

- ① 神様は人間の不信仰によって神様の救済史が断絶する危機に置かれる度に聖なる神様の民を各時代ごとに残された。そしてはじめから終わりまで神様の救済史が断絶されず変わりなく前進できるよう御業された。預言者アモスは残された者をふるいで物をふるい残った「ひと粒」として(アモ 9:9)、預言者イザヤは残された者を「\_\_\_\_\_」(イザ 6:13)と表現している。
- ② 残された者は神様から選ばれた者たちである(イザ 10:22-23、マタ 24:31、ロマ 11:5)。残された者は真実な者である(ゼバ 3:13、アモ 5:15、イザ 1:9、黙 14:5)。残された者は神様にだけ頼る者たちであるミカ 5:7、イザ 11:16)。
- ③ 終わりの時も恵みの選びによって残された者がいる(ロマ 9:27、11:5)。彼らは「太陽を着た女(黙 12:1)」の残された子孫として「神の戒めを守り、イエスのあかしを持っている者たち」である(黙 12:17)。イエス様も再臨のとき御使いたちをおくり、選ばれた者を天のはてからはてに至るまで、四方からその選民を呼び集めることを語られた(マタ 24:31)。神様は選ばれた

者の霊的なシオン、つまり神様の約束がとどまっている宇宙的なイエス・キリストの教会に一つに集まるようになるだろう。

## 4. 大きい町バビロンの滅亡を通じて見た終末的救済の経緯

### (1) バビロン捕囚のような、前例のない最後の患難の期間、後三年半

- ① 聖書では再臨の直前に起こる、全世界の人に下される前例のない患難を預言している(ダニ 12:1、マタ 24:21-22、マコ 13:19、ルカ 21:22、35、黙 3:10)。
- ② 大いなる \_\_\_\_\_ (黙 17:1, 5)が獣に自分たちの力と権威とを与えるが(黙 17:13)、これは神様が彼らの心の中に、み旨を行い、神様のみ言葉が応じるまでその国を獣に与える思いを持つようにされたため、信徒の権威が砕かれるまで神様の \_\_\_\_\_ の中で起こる患難である(ダニ 11:32-36、12:7、黙 13:5、7、17:17)。
- ③ なので小羊の命の書に記されていないものたちはこの期間に背き離れるのである(ダニ 11:32、12:1-3、黙 13:8)。しかし患難の終りはなお定まったものであるということ(ダニ 11:35、12:7、黙 2:10)信徒は認識しなければならない。

### (2) 大患難の後にある大きな町バビロン滅亡

- ① ヨハネの黙示録は後3年半のときにある世界的な大患難後、裁きを受けるこの世を大きな町バビロンに例えられている(黙 14:8, 16:19, 17:5, 18, 18:2, 10, 14, 15, 16, 18, 21)。
- ② 世の中バビロンが裁かれる理由は、(1)不品行(エレ 51:7、黙 14:8, 17:2, 18:3)、(2)偶像崇拜、(3)贅沢と享楽(黙 18:11-14)、(4)人本主義(ダニ 4:20)、(5)悔い改めないこと(黙 9:21)、(6)信徒の血とイエスの証人たちの血を流させた罪(黙 6:9-11, 13:5, 16:6, 17:6, 18:24)、(7)傲慢(黙 18:7)である。
- ③ バビロンは一日の間完全な裁きと滅亡が預言されている(黙 14:7, 18:8, 19)。滅亡の原因はその罪が天に達し、神様はバビロンの不義をおぼえられ(エレ 51:9、黙 16:19, 18:5)、その

罪に対して報復されるのである(エレ 16:18, 17:18、黙 18:6)。バビロンの罪が天に達したの  
は「罪の分量があまりに多く、天に達した、限界に達した」という意味である。バビロンを去り  
なさいという意味は罪と関係を絶え、その誘惑に惑わされてはならないということである。世に  
愛着をおいたものはロトの妻のように世の中の 災害に巻き込まれるようになるからである(黙 1  
8:4)。

- ④ バビロンによってぜいたくをほしいままにしていた人々はバビロンの滅亡を悲しむ(黙 18:9,  
15)。しかし信徒たちは彼らのために裁かれているので大いに喜ぶようになる(黙 18:20)。

神様が 大患難の後に裁かれ、選ばれた民たちを救われると約束されたすべての契約の約束が成し遂げ  
られるその日まで最後まで耐え忍び、忍耐で勝利を得よう。



2021 夏季大聖会 講義 6

## 聖書の系図と歴代誌の系図の救済経綸

代上 6:49-53

一般的に系図は「父系」を中心とした血筋関係と行跡をわかりやすく説明した書物であり、韓国だけでなくユダヤ人も系図を重要視した。

聖書の系図も先祖代々下ってきた系統の名前にそって順序よく記しておいたものだが、単に血筋の記録だけではなく神様の救済史を理解することにおいてとても重要な手立てである。

聖書の系図は何であり、そのうち歴代誌の系図の救済史的経綸は何であるか。

### 1. 救済史と契約の系図

聖書の系図は救済史の主人公となるイエス・キリストが女の末として来られるという \_\_\_\_\_ を裏付ける具体的な手がかりである。

#### (1) 救済史

救済史はイエス・キリストの死と復活を中心に罪人を救われる歴史である。

世界史の中心は救済史であり、救済史の中心はイエス・キリストである。

救済史で最も大きい流れは墮落と回復である。

#### (2) 契約

創造と墮落と救いの経緯の中で中断なく前進する神様の救済史を引き継いできたのは神様の契約である。

契約は神様の救いのヒストリーを時代ごとに繋げてくれる継ぎ目であり、時代ごとの契約成就是救済史を引き繋いでいった。

### (3) 系図

聖書上の系図は一般的に先祖からくだってきた系統を名前にそって順序よく記しておいたものである。

系図は救済史が圧縮されている救済史の核心である。

なので、系図の研究は神様の経綸を最も確実に見出す近道である。

系図における最も重要な要素は\_\_\_\_\_であるので、系図を研究するときには必ず\_\_\_\_\_に込められた救済史的意味を探ってみなければならない。

## 2. 聖書の系図

### (1) 創世記の系図(創 1-50章)

創世記には10の系図が記されており、創世記自体が10の系図でなされている。

### (2) 歴代誌の系図(代上 1-9章)

アダムから第2次バビロン捕囚の帰還世代まで約3,600年の期間の系図である。

アダム、ノア、アブラハム、ヤコブ、ダビデなど聖書に登場する重要な\_\_\_\_\_たちを中心に記されており、特にバビロンの捕虜地からエルサレムへ戻ってきた残った者のうち\_\_\_\_\_の子孫を中心に記されている。

### (3) ルツ記の系図(ルツ 4:18-22)

ユダの子ペレツ誕生からダビデの誕生まで約840年に該当する人物をたったの10人に圧縮した短い系図である。ダビデの子孫としてメシアがくることを示している。

### (4) エズラとネヘミヤに記された系図

イスラエルの捕虜からの帰還が歴史的事実であることを示してくれる根拠である。

昔、捕虜とし捕われて行った先祖と帰ってきた子孫たちを繋げる架け橋の役割をし、神様の救済史が中断せず続いていることをみせている。

救済史全体からみたとき、旧約と新約をつなげる\_\_\_\_\_の部分に該当する。

## (5) イエス・キリストの系図

### ① マタイ1章の系図

アブラハムからイエス・キリストまで約2,162年の歴史を圧縮した系図であり、アブラハムとダビデに約束された契約がイエス・キリストを通じて成就されたこと、救済史の中心であるイエス・キリストの偉大な御働きを一目でわかるようにされたのである。

### ② ルカ3章の系図

キリストからはじまりアダムと神様までさかのぼっていき、一つで繋がっている救済史を一目で見せてくれる系図である。

## 3. 聖書の系図での強調点

### (1) 女のすえ

聖書の最初の契約は創 3:15の女のすえの約束である。女のすえとして来られるメシアが \_\_\_\_\_ の頭を砕くことに対する約束を究極的に完成された方はまさにイエス・キリストである。

マタイ 1 章の系図は女のすえの約束が成就する過程とイエス・キリストがその約束を成就される方であるということを堂々と宣布している。

**マタ 1:16** …このマリヤからキリストといわれるイエスがお生れになった。

**ガラ 4:4** 神は御子を女から生れさせ、律法の下に生れさせて、おつかわしになった。

**Iヨハ 3:8** …神の子が現れたのは、**悪魔のわざを滅ぼしてしまうため**である。

### (2) アブラハムの子孫

旧約では女のすえとしてこられるメシアがアブラハムの子孫としてこられると幾度も示されている。アブラハムは祝福の根源であり、イエス・キリストがアブラハムの子孫として来られることによってイエス・キリストを通じ地のすべての民が \_\_\_\_\_ の祝福を受けるようになるのである。

**創 18:18** アブラハムは必ず大きな強い国民となって、**地のすべての民がみな、彼によって祝福を受けるのではないか。**

**ガラ 3:9** このように、信仰による者は、信仰の人**アブラハムと共に**、祝福を受けるのである。

### (3) ダビデの子孫

旧約ではダビデの子孫としてメシアを描いており、「永遠の国の永遠なる \_\_\_\_\_ であるメシア」をあわらす。

**イザ 9:7** ダビデの位に座して、その国を治め、今より後、とこしえに公平と正義とをもってこれを立て、これを保たれる。

**エゼ 37:25** わがしもべダビデが、永遠に彼らの君となる。

人間が墮落した以降、神様がくださった最初の約束は創 3:15の「女のすえ」に対する約束であり、この約束は旧約の歴史においてメシアが祝福の源であり、アブラハムの子孫と永遠なる王であるダビデの子孫としてこられる約束がより具体化されている。聖書の系図はこのような「一人の子孫の約束」がイエス・キリストを通じて成就する過程を記している。

## 4. 歴代誌の系図の救済史的経緯

### (1) 歴代誌の系図の特徴

#### ① 代上 1-9章に記されている系図で旧約にあらわれた救済史の圧縮版であり、

旧約の救済史的流れを \_\_\_\_\_ で圧縮して記したものである。

#### ② イエス・キリストの系図とつながっている系図

ヘブル語の聖書では歴代誌が旧約聖書の最も最後の書物として旧約の圧縮版であり結論ともいえる部分である。

マタイ1章の系図の直前に記されていることから旧約と新約を繋げるつなぎ目の役割をし、イエス・キリストを紹介している。

#### ③ ユダ部族とレビ部族を中心にした系図

**代上1-3章**：アダムからBC 400年代はじめに生きたダビデの子孫までを記した。

**代上6章**：歴代誌の系図の構造の中心に位置し、合計81節で構成されており、

代上1-9章の系図の中で最も長い。

## (2) 歴代誌の系図の構造

### 歴代誌のX字型構造

- A イスラエル以前の世界(イスラエルの若枝)
- B イスラエルのすべての子たち
  - C ユダ-ダビデ王の部族
    - D イスラエルの部族
      - E レビの子孫たち
        - F 祭司長の義務
          - F' 大祭司たち
            - E' 定着地のレビ人の子孫たち
              - D' イスラエルの部族
                - C' ベンヤミン-サウル王の部族
- B' 数えられた全てのイスラエル
- A' イスラエルの再建

構造上、歴代誌の系図の中心に大祭司とレビ人たちの系図に位置する。その中でも \_\_\_\_\_ は最も中心的な位置である。これは、歴代誌の系図において最も強調している点が \_\_\_\_\_ であるという意味である。

## (3) 救済史的経緯

### ① 大祭司としてこられたイエス・キリスト

供え物を捧げるためには必ずいけにえと聖所と祭司長が必要である。しかし旧約の供え物と聖所と祭司長は根本的に罪を完全に贖うことのできないという限界がある。

それに比べ、イエス・キリストはたった一回ですべてのいけにえの代わりに供え物とされただけでなく、全人類のすべての罪を一回で解決されるため大祭司としてこられた。

ヘブ 3:1 わたしたちが告白する信仰の使者また**大祭司なるイエス**を、思いみるべきである

### ② メルキゼデクに等しい並外れた大祭司イエス・キリスト

ヘブ 5:10 神によって、**メルキゼデクに等しい大祭司**と、となえられたのである。



「等しい(韓国語聖書では班列)はギリシャ語「タクシス」で「系列、\_\_\_\_\_、秩序などを意味し、  
「等しい(韓国語の聖書で班列を従う)」という意味は、「同じ列に立つ」である。

信徒はメルキゼデクに等しい大祭司であるイエス様を悟り、完全に従っていく信仰の道に立たなければならぬ。

### ③ メルキゼデクの列は聖殿の至聖所に向かう道

大祭司は至聖所に入ることのできる唯一の存在である(一年に一度)。

エゼキエルの宮の至聖所は\_\_\_\_\_の場所を象徴するが、イエス様のようにメルキゼデクにの  
班列をおう信徒だけがエゼキエルの宮の至聖所へ進み出でることができる。

**ヘブ 6:20** その幕の内に、**イエスは、永遠にメルキゼデクに等しい大祭司として、**  
わたしたちのためにさきがけとなって、はいられたのである。

**ヘブ 4:16** だから、わたしたちは、あわれみを受け、また、恵みにあずかって時機を得た助けを受ける  
ために、**はばかりことなく恵みの御座に近づこうではないか。**

## 5. 結論

聖書の系図は救済史の中心であるイエス・キリストが女のすえ、アブラハムの子孫、  
ダビデの子孫としてこられることを証している。

歴代誌の系図はイエス・キリストがメルキゼデクに等しい大祭司としてこられることを証している。

終末を生きる信徒は聖書の系図を通じてイエス・キリストの救済史的経綸を正しく悟り、  
歴代誌の系図を通じてメルキゼデクに従ってエゼキエルの宮の至聖所に入ることにより最善をつくさなければならぬ。



2021 夏季大聖会 講義 7

## 新しい契約を通じて見せてくださる御国 - 道しるべと標柱を立てよ

エレ 31:21-22、31-34、33:1-9

神様の念願はこの世に御国をたてることである(ダニ 2:44)。そのため神様はイスラエルの民を選ばれ、彼らにカナンの地を与えられ、彼らを治める王として「ダビデ」を立てられた。ダビデを通してたてられた新政国家は究極的にわたしたちの入るべき御国をあらわしているが、それを新しい契約を通じて考えてみよう。

### 1. 御旨にかなった王「ダビデ」を通して、神様はその国を強められた。

(1) 王を求めるイスラエルの民と初代王のサウルを見捨てられた神様(サム上 8:1-22、15:1-29)。

(2) 御旨にかなったダビデを認めた神様(申 17:14-15、サム上 13:14、16:1-13)。

- ① ダビデは約15歳の頃、ダムエルにより王として油を①①注がれて以来BC1010年、ヘブロンでユダ部族の王となり、BC1003年にすべてのイスラエルの王となった(サム下 2:4、5:3)。
- ② 神様はアブラハムに(創 17:6)、ヤコブに(創 35:11)、ユダに(創 49:9-10)「王権」を約束された。そして主の約束の通り、アブラハムの子孫のうちユダ部族のダビデが御旨にかなった王として選ばれた(行 13:2)。
- ③ ダビデは王になって一番最初にシオンを征服し、そこを首都とし(サム下 5:6-10)、  
\_\_\_\_\_を移し神様の御言葉を新政国家の統治理念とした(サム下 6:17)。
- ④ 神様はダビデが行くすべての所で勝利を与えられ、ダビデの統治を通して約束されたカナンの地をさらに栄えさせてくださった(サム下 8:6、14、代上 18:1-17)。

(3) \_\_\_\_\_を望んだダビデと契約を結ばれた神様

- ① ダビデはずべてに安息を与えられた神様の恵みの中、「わたしは香柏の家に住んでいるが、

神の箱はなお幕屋のうちにある」とし、聖殿建築を念願した(サム下 7:1-2)。

② 神様はダビデと契約を結ばれ、ダビデの子孫を通して宮を建てられるとされた(王上 5:3、代上 22:8-10、28:3、6)。

### <ダビデ契約>

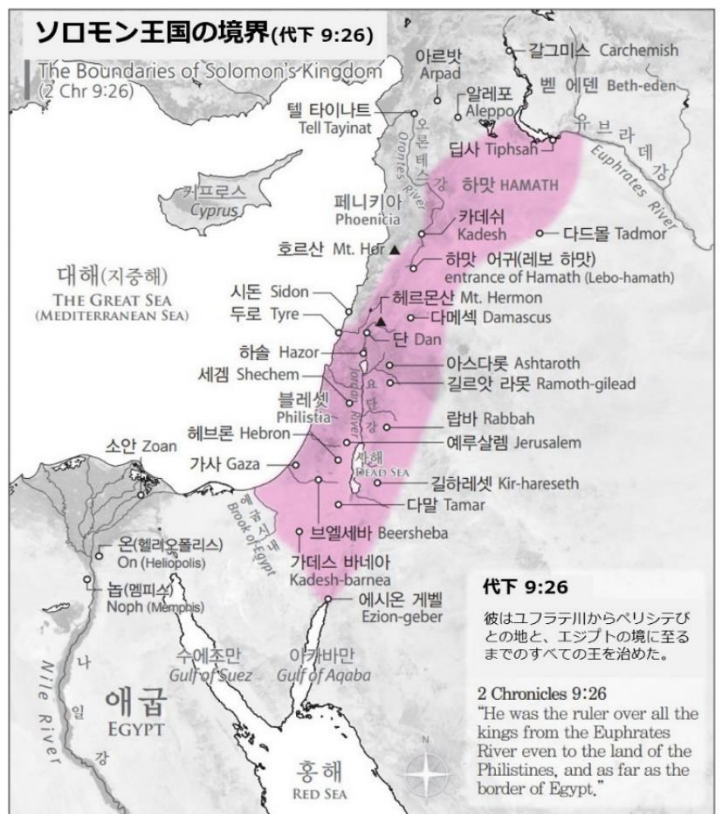
- ① ダビデの位が長く堅うせられることを約束(サム下 7:8-9、11、16、代上 17:8)
- ② もろもろの敵を打ち退けて、国に安息を与えると約束(サム下 7:10-11、代上 17:9-10)
- ③ 「あなたの身から出る子を、あなたのあとに立てて、その王国を堅くするであろう。  
彼はわたしの名のために家を建てる。わたしは長くその国の位を堅くしよう。」  
(サム下 7:12-13、代上 17:11-12)

(4) ソロモンを通して国はさらに平安になり、  
ソロモンは父のダビデが念願の中準備してた宮  
の建築を完了した(王上 6:37-38)。

ソロモンの統治領域：周辺諸国を治め貢物を出  
してもらい、神様がすべてに平安を与られた  
ので民は安らかに過ごせた(王上 4:21、24-  
5、10:24-25、27、参考創 12:3、22:18)。

**王上 4:21** ソロモンはユフラテ川からペリシテびと  
の地と、エジプトの境に至るまでの諸国を治めた  
ので、皆みつぎ物を携えてきて、ソロモンの一生のあい  
だ仕えた。

**王上 4:25** ソロモンの一生の間、ユダとイスラエル  
はダンからベエルシバに至るまで、安らかにのおの  
自分たちのぶどうの木の下と、いちじくの木の下に住んだ。



\*各方向別の境界は大まかなものである。

(5) ミカとゼカリヤはダビデとソロモンによるイスラエル王国の平安と栄を、終わりの\_\_\_\_\_と語っている(ミカ 4:4、ゼカ 3:10)。

**ゼカ 3:10** 万軍の主は言われる、その日には、あなたがたはめいめいその隣り人を招いて、ぶどうの木の下、いちじくの木の下に座するのである」。

しかし、最高の栄を味わったダビデ王国だが、ソロモン以降国は分裂し、主の御言葉に逆らい罪を犯したことにより、北のイスラエルはBC722年アッシリヤにより、南のユダはBC586年バビロンにより滅んでしまった。

## 2. 回復の新しいメッセージ – 新しい契約と新しい王国

神様は契約(シナイ山契約 = 昔の契約、出 20:1-17、24:1-11)を破棄し、犯罪によりバビロンへ捕虜として連れていかれたイスラエルの民に「70年が満ちるならば(エレ 29:10)」主が新しい王国をたてられ、彼らを自分の国へ帰らせるとの回復のメッセージを新しい契約の締結とともに伝えられた。



**エレ 31:31-34** 主は言われる、見よ、わたしがイスラエルの家とユダの家とに新しい契約を立てる日が来る。<sup>32</sup>この契約はわたしが彼らの先祖をその手をとってエジプトの地から導き出した日に立てたようなものではない。わたしは彼らの夫であったのだが、彼らはそのわたしの契約を破ったと主は言われる。<sup>33</sup>しかし、それらの日の後にわたしがイスラエルの家を立てる契約はこれである。すなわちわたしは、わたしの律法を彼らのうちに置き、その心にする。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となると主は言われる。<sup>34</sup>人はもはや、おのおのその隣とその兄弟に教えて、『あなたは主を知りなさい』とは言わない。それは、彼らが小より大に至るまで皆、わたしを知るようになるからであると主は言われる。わたしは彼らの不義をゆるし、もはやその罪を思わない」。

捕囚前後に予言者らを通して伝えられた新しい契約のメッセージ

	イザヤの新しい契約 イザ 59:20-21	エレミヤの新しい契約 エレ 31:31-34	エゼキエルの平和-永遠なる契約 エゼ 37:1-28
契約の 対象	ヤコブのうち罪から離れた者	イスラエルの家とユダの家 (エレ 31:31) → <b>イスラエルの家(33節)</b>	枯れた骨 → 大いなる群衆 → <b>イスラエルの全家</b> (エゼ 37:11、15:23 -二本の木の連合)
契約記 録の方 法	イザ 46:12 「心をかたくなにして、 救に遠い者よ、 わたしに聞け」	・ <b>永遠に忘れられることのない契約を結んで主に連なる(エレ 50:5)</b>  ①罪が彫りつけられている心の碑に(エレ 17:1)  ②わたしが主であることを知る心、恐れる恐れを彼らの心に置いて(エレ 27:7、32:40)  ③神の霊によって御言葉を心に書かれ、人格と内なる人まで変化させる(エレ 31:33、Ⅱコリ 3:3)	・ 散らされた国々から集められ清い水で洗われ、新しい心と新しい霊を授け御言葉を守らせられる(エゼ 11:19-20、36:26-27)  ・ わが霊を、あなたがたのうちに置いて(エゼ 37:14)
契約の 結果	・ 御霊と御言葉が主の民の口からとこしえに離れることがない(イザ 59:21)  ・ 新しい天と新しい地を創造(イザ 54:11-17、65:17、66:22)	・ 女が男を保護する新しい事(エレ 31:22)  ・ わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる(エレ 31:33)  ・ 皆、主を知るようになる(34節)  ・ <b>罪を許される祝福(エレ 31:34、33:6-8、50:20)</b>	・ <b>荒れた地がエデンの園のようになる(エゼ 36:35)</b>  ・ 人々は、わたしが主であることを悟る(エゼ 36:38)  ・ 彼らはわが民となり、わたしは彼らの神となる(エゼ 37:23、27)  ・ わがすみかは彼らと共にある : <b>アドナイ・シヤマ</b> (エゼ 37:26-28、48:35)

### 3. 新しい王国の統治者は誰で、新しい契約が成就する「その日」はいつなのか？

#### (1) 新しい王国の統治者は誰なのか？

- ① \_\_\_\_\_ のために一つの正しい枝を生じさせよう(エレ 33:14-15、25-26)
- ② 一つの民をなして一人の王が彼ら全体の王となり、ダビデが永遠に彼らの君となる  
(エゼ 37:22、25)
- ③ 彼らの上にひとりの牧者を立てる…ダビデは彼らのうちにあつて君となる(エゼ 34:23-24)
- ④ 新しい王国の王はダビデの子として来られたが(マタ 1:1、ヨハ 7:42、ロマ 1:3)、  
本来は「ダビデの主、ダビデの若枝(イザ 11:1、10、マタ 22:45、黙 5:5)」であり、  
「ソロモンにまさる者(マタ 12:42、ルカ 11:31)」であられる。

**イザ 9:6-7** 「…まつりごとはその肩にあり、…ダビデの位に座して、その国を治め、今より後、  
とこしえに公平と正義とをもってこれを立て、これを保たれる。…」

- ⑤ 新しい契約の仲介者であるキリスト(ヘブ 8:8-12)

**イエス様は十字架の救いを通して新しい契約の成就者であられることを宣言され、「ただ一度の永遠なる贖罪」を成し、人間の罪を赦して下さった(ルカ 22:20、ヘブ 9:15、10:17-18)。**

このように王権をもってこられたダビデの子イエス・キリストを通して諸国は救われ神の民となり、  
新しい契約を通じて神様とともに住む祝福を望めるようにされた(ガラ 3:16、29)。

#### (2) 新しい契約が成就する「その日」はいつなのか？

- ① 日が来る(エレ 31:31)、それらの日の後に(エレ 31:33)、その日その時(エレ 50:4、20) :  
神様が定められた時であり、悔い改めたイスラエルが救われる時
- ② その日、その罰を受ける時、あなたの日、わたしがおまえを罰する時(エレ 50:27、31) : 主の  
報復、その宮の報復の日(エレ 50:28、51:11)
- ③ 新しい契約の時代がイエス・キリストのなかで渡来しているが、究極的な最終成就是主の再臨  
によって成し遂げられる。そして「その日が来ると」、人々は神様を知り、罪が赦される祝福  
を受け、荒れた町は回復され感謝と喜びの声上がり(エレ 33:10-11)、「死もなく、悲しみ  
も、叫びも、痛みも(イザ 65:20-25、黙 21:4)」ない世界が完成する。

## 結論：御国を備える者の使命

わたしたちはイエス・キリストの救いの恵みで新しい心、新しい霊に回復され、永遠と破れることのない契約のなかに入っている。そのため、永遠なる統治者のイエス・キリストのなかで神の国を眺め、この世でも御国を回復しつつ進んでいくべきである(ルカ 17:20-21)。

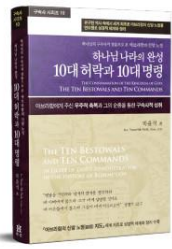
それでは、今わたしたちの使命は何であろうか。

\_\_\_\_\_を立て、\_\_\_\_\_を作らないならない(エレ 31:21-22)。

- ・ **道しるべ**：遠くからもよく見かけるようになっている道案内
- ・ **標柱**：道と境を示すために高く立てた木

神様はイスラエルの民にバビロン捕囚からの帰還の時を望むなか「道しるべと標柱」を造りその日、その時に慌てることなく主のおられる「あなたの町々に帰れ」とされた。

イエス・キリストの救いの働きは今日教会を通して展開されており、やがて完成されるはずだ。従って**今の時代の教会は十字架の標柱、救済史の道しるべを正確に立てることで、われわれの子孫、そしてバビロンのようなこの世で御国に向かって行っている人々に(黙 18:1-4)明るい道しるべ、道案内としての役目を果たすべきである。**



2021 夏季大聖会 講義 8

## 御言葉通りに成就したアブラハムの義

ヤコ 2:21-23

神様は人類の救いの過程を4段階に分けられている。

①定められ、②よばれ、③ \_\_\_\_\_、④栄光を与えてくださる。

**ロマ 8:30** そして、あらかじめ定めた者たちを更に召し、召した者たちを更に義とし、義とした者たちには、更に栄光を与えて下さったのである。

神様は私たちを天地を作られる前から定められた(エペ 1:4)。

神様はアブラハムを単身赴任のとき、よばれた(イザ 51:2)。

神様は一度定めれば必ずよばれ、義とされ、栄光を与えてくださる。

「最後まで耐え忍ぶ信仰により救済史の御言葉運動の勝利者となろう」。2021年夏季大聖会の主題のように、神様は私たちを天地をつくられる前から予定され救済史のみ言葉の前によばれ、御言葉を通して義とされたので必ず最後のラッパで復活と変化を通じて栄光を与えられる( I コリ 15:51-54)。

### 1. 稱義(アブラハム84歳のとき)

**創 15:6** アブラムは主を信じた。主はこれを彼の義と認められた。

(1) 「信じた」：ヘブル語「アマン(אמן)」は「真摯である」「忠実である」を意味し、能動態(ヒピル形)である。これは「神様がアブラハムを信じさせた」という意味である。

アブラハムの行いを通して義と認められたのではなく、神様が信じさせたということである(ロマ 4:2)。信仰は神様からの贈り物である(エペ 2:8-9)。

**I コリ 15:10** しかし、神の恵みによって、わたしは今日あるを得ているのである。そして、わたしに



賜わった神の恵みはむだにならず、むしろ、わたしは彼らの中のだれよりも多く働いてきた。しかしそれは、わたし自身ではなく、わたしと共にあった神の恵みである。

## (2) 「義と認められた。」

“義”：ヘブル語「チエダカ(חַדָּקָה)」であり、「考えや行いが神様のみ旨と一致する人の状態」という意味である。

墮落した人間には「完全な義」は存在しない。

ロマ 3:10 次のように書いてある、「義人はいない、ひとりもない。」

「みなす」：ヘブル語「ハシャブ(חָשַׁב)」であり、「評価する、認める」神様が義があると評価され、認めてくださる。

ロマ 4:6 ダビデもまた、行いがなくても神に義と認められた人の幸福について、次のように言っている、

これを神学的には「稱義, Justification」という。

稱義は一度義と認められれば、\_\_\_\_\_ 義と認められるということである。

ロマ 3:24 彼らは、価なしに、神の恵みにより、キリスト・イエスによるあがないによって義とされるのである。

今日私たちにも「義」がないとしても、アブラハムのように「義」と認めてくださるということ信じよう。

## 2. 成就された義 (アブラハム 100歳のとき)

創 21:5 アブラハムはその子イサクが生まれた時百歳であった。

ロマ 4:19-22 すなわち、およそ百歳となって、彼自身のからだは死んだ状態であり、また、サラの胎が不妊であることを認めながらも、なお彼の信仰は弱らなかった。<sup>20</sup>彼は、神の約束を不信仰のゆえに疑うようなことはせず、かえって信仰によって強められ、栄光を神に帰し、<sup>21</sup>神はその約束されたことを、また成就することができる確信した。<sup>22</sup>だから、彼は義と認められたのである。

「あなたの子が星のように数え切れなくなる。」というみ言葉をアブラハムが84歳のとき信じることによって、神様はアブラハムを義とみとめられ、その信仰通りに\_\_\_\_\_されたのである。

アブラハム84歳のとき松明の契約を結んだ後、100歳まで16年間信仰が衰えず堅くたち、やがてイサクを生んだことを「成就された義」と表現することができる。

**(1) 「義と認められた」者も罪をおかすことがある。**

- ①アブラハムの84歳のとき、義と認められたが、
- ②85歳のときサラの言葉を聞いてハガルをめとい(創 16:1-2)
- ③86歳、イシュマエルをうんだ(創 16:16)

アブラハムのように\_\_\_\_\_として認められたとしても罪をおかすことがあり、そのため神様はアブラハムを99歳の時まで13年間アブラハムの前にあらわれず、そのような罪をも解決するためにイエス様がこられたのである。

**Iヨハ 3:5** あなたがたが知っているとおりに、彼は罪をとり除くために現れたのであって、彼にはなんらの罪がない。

**(2) アブラハムは100歳のとき信仰が強められた。**

**ロマ 4:20** 彼は、神の約束を不信仰のゆえに疑うようなことはせず、かえって信仰によって強められ、栄光を神に帰し、

「強められ」はギリシャ語「エンディナモオ(ενδυναμόω)」で「強い、力を持っている、増強する」という意味である。このみ言葉は過去信じれなかったことを信じたと\_\_\_\_\_くださるという意味である。アブラハムはイサクを生んだ後、その信仰が強くなったということである。

私たちも与えられたみ言葉を信じる時、義と認めくださる神様が私たちの信仰を強められ必ずその義を成就されるだろう。

### 3. 完全な義 (アブラハム136歳以前)

**ヤコ 2:21-23** わたしたちの父祖アブラハムは、その子イサクを祭壇にささげた時、行いによって義とされたのではなかったか。<sup>22</sup>あなたが知っているとおり、彼においては、信仰が行いと共に働き、その行いによって信仰が全うされ、<sup>23</sup>こうして、「アブラハムは神を信じた。それによって、彼は義と認められた」という聖書の言葉が成就し、そして、彼は「神の友」と唱えられたのである。

「成就し」はギリシャ語「プレロオ(πληρώω)」で「満たされる、いっぱいになる」という意味である。

アブラハム100歳のとき成就された義が、イサクを捧げなさいというみ言葉に従うことによって完全に\_\_\_\_\_ということになる。

**創 22:12** み使が言った、「わらべを手にかけてはならない。また何も彼にしてはならない。あなたの子、あなたのひとり子をさえ、わたしのために惜しまないので、あなたが神を恐れる者であることをわたしは今知った」。

「恐れる」はヘブル語「ヤレ(יָרֵא)」で「大きな信仰、恐れる信仰」を意味する。

**ヤコ 2:22** あなたが知っているとおり、彼においては、信仰が行いと共に働き、その行いによって信仰が全うされ、

アブラハムは独り子イサクを捧げることにより、完全な義として認めてくださったのである。イサクを捧げた出来事はサラが死ぬ直前にあった出来事で、アブラハム136歳以前だったと推定できる。サラが息を引き取った127歳のとき(創 23:1)、アブラハムは137歳であった(参考-創 17:17)。

**(1) 義と認められると\_\_\_\_\_で満たされる。**

**創 15:6** アブラムは主を信じた。主はこれを彼の義と認められた。

イサクを捧げなさいというみ言葉に従順することによってその義が完全に満たされたのである。

**(2) アブラハムに大きな祝福を与えられたのも、完全な義と認めてくださった後であった。**

創 22:17 で「大いにあなたを祝福し」、ヘブル語「バラク(בָּרַךְ)」が2回連続使われているのは、神様が「必ず続けて祝福をそそいでくださる」という力強い意志をあらわしている。

### (3) 神様がアブラハムを\_\_\_\_\_とよんでくださったのも完全な義として認められた後だった。

**ヤコ 2:23** こうして、「アブラハムは神を信じた。それによって、彼は義と認められた」という聖書の言葉が成就し、そして、彼は「神の友」と唱えられたのである。

**代下 20:7** 「…あなたの友アブラハム…」

**イザ 41:8** 「…わが友アブラハム…」

「友」はヘブル語「アハブ(אהב)」から由来した「アヘブ(אהב)」で、「恋人のように愛する仲」という意味である。

アブラハムが100歳のとき生んだイサクをまるで恋人のように非常に愛したので、神様は燔祭で捧げることを命じられ、そのみ言葉通りに従ったアブラハムを神様が友とよんでくださったのである。

私たちも与えられた御言葉さえ信じれば義とみなして下さり、必ずその義を全きものとして下さるだろう。

### 結論 → アブラハムの義は今日の私たちのためにある。

**ロマ 4:23-24** しかし「義と認められた」と書いてあるのは、アブラハムのためだけではなく、<sup>24</sup>わたしたちのためでもあって、わたしたちの主イエスを死人の中からよみがえらせたかたを信じるわたしたちも、義と認められるのである。

イエス・キリストを死者の中からよみがえらせた方は父なる神様である。

**ロマ 8:11** もし、イエスを死人の中からよみがえらせたかたの御霊が、あなたがたの内に宿っているなら、キリスト・イエスを死人の中からよみがえらせたかたは、あなたがたの内に宿っている御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだをも、生かして下さるのである。

今日私たちも父なる神様を完全に信じる時、アブラハムのように義と認めteくださるのである。

白馬に乗った再臨の主を従う信徒たちは白くきよい亜麻布を着ている(黙 19:14)。

きれいな亜麻布とは、信徒たちの正しい行いである(黙 19:8)。

「正しい行い」はギリシャ語「ディカイオマ」(δικαίωμα)で、「\_\_\_\_\_」を意味する。

**ヨハ 16:10** 義についてと言ったのは、わたしが父のみもとに行き、あなたがたは、もはやわたしを見なくなるからである。

この地にこられたイエス様が父の次元まで上げられたことを神学的用語では「昇貴」といい、反対に御言葉が肉身を着てこの地にこられたことを「卑下」という。

**ヨハ 10:30** わたしと父とは一つである。

**ヨハ 10:33** ユダヤ人たちは答えた、「あなたを石で殺そうとするのは、よいわざをしたからではなく、神を汚したからである。また、あなたは人間であるのに、自分を神としているからである」。

**ヨハ 16:9** 罪についてと言ったのは、彼らがわたしを信じないからである。

**ヨハ 8:24** だからわたしは、あなたがたは自分の罪のうちに死ぬであろうと、言ったのである。もしわたしがそういう者であることをあなたがたが信じなければ、罪のうちに死ぬことになるからである

救済史の新しい始まりもアブラハムを通じて成され、終わりもアブラハムを通じて成就されるということがわかる。

**創 12:3** 「…地のすべてのやからは、あなたによって祝福される…」

「あなたによって」はヘブル語の「ベカ」で、「あなたのなかで」という意味となる。ここでは「アブラハムのなかで」という意味であり、アブラハムの子孫としてこられるイエス・キリストによって世のすべての民が祝福されることを意味する。

**マタ 1:1** → アブラハムがすべての人類を救うために来られたイエス・キリストの聖なる通路になったのである。

**ルカ 16:22-24** この貧乏人がついに死に、御使たちに連れられてアブラハムのふところに送られた。金持も死んで葬られた。<sup>23</sup>そして黄泉にいて苦しみながら、目をあげると、アブラハムとそのふところにいるラザロとが、はるかに見えた。<sup>24</sup>そこで声をあげて言った、『父、アブラハムよ、わたしをあわれんでください。ラザロをおつかわしになって、その指先を水でぬらし、わたしの舌を冷やさせてください。わたしはこの火炎の中で苦しみもだえています』。

**マタ 8:11** なお、あなたがたに言うが、多くの人が東から西からきて、天国で、アブラハム、イサク、ヤコブと共に宴会の席につくが、

神様は天地をつくられる前から私たちを定められ、時が満ちて救済史のみ言葉の前によばれ、アブラハムを義とされ、終わりの時栄光の祝福(霊肉ともなる変化)でアブラハムのように御国に入らせ驚くべき回復を成し遂げられるのである。



## 再臨の最終場所であるエゼキエルの宮のケルビムと棕櫚の木

エゼ 41:15-20

予言者エゼキエルは15番目に羽目板の上のケルビムと棕櫚の木が刻まれた宮の内部を訪問する。主の栄光が東の方に面した門から入り主の栄光が宮に満ちた(エゼ 43:1-5)。

### 1. エゼキエルの宮の内部は羽目板でおおわれている。

エゼキエルの宮の拝殿、内部の室、外の廊、引込み枠の窓と宮の周囲は床から窓まですべて \_\_\_\_\_ でおおわれていた。

**エゼ 41:15-17** 彼が西の方の庭に面した建物と、その壁の長さを測ると、かなた、こなたともに百キュビトであった。宮の拝殿と、内部の室と、外の廊とには、羽目板があった。<sup>16</sup>これらの三つのものの周囲には、すべて引込み枠の窓があり、宮の敷居に面して、宮の周囲は、床から窓まで、羽目板であって、窓には、おおいがあった。<sup>17</sup>戸の上の空所、内室、外室ともに、羽目板であった。内室および拝殿の周囲のすべての壁には、同じように彫刻してあった。



▶ 羽目板があった - 「シャヒフ(σῆψ) 」：木材、板をあてる

木は聖殿の実体であるイエス・キリストを示す。

**ルカ 23:31** もし、生木でさえもそうされるなら、枯木はどうされることであろう」

▶ 生木 - 「フィグロクシロ(ῥοκκίον ξύλον)」：年中青く樹液の豊かな木

イエス・キリストは私たちの罪を担うために自ら十字架にかかった。

**I ペテ 2:24** さらに、わたしたちが罪に死に、義に生きるために、十字架にかかって、わたしたちの罪をご自分の身に負われた。その傷によって、あなたがたは、いやされたのである。

イエス・キリストは死の勢力にうち勝ち復活されることによって聖殿を起こされた。

**ヨハ 2:19-21** イエスは彼らに答えて言われた、「この神殿をこわしたら、わたしは三日のうちに、それを起すであろう」。<sup>20</sup>そこで、ユダヤ人たちは言った、「この神殿を建てるのには、四十六年もかかっています。それなのに、あなたは三日のうちに、それを建てるのですか」。<sup>21</sup>イエスは自分のからだである神殿のことを言われたのである。

## 2. ケルビム

羽目板には棕櫚の木と顔を向かい合わせているケルビムが刻まれていた。

**エゼ 41:18** すなわちケルビムと、しゅろとが彫刻してあった。ケルブとケルブとの間に、しゅろがあり、おのおののケルブには、二つの顔があり、

命の木の道を守るケルビム(創 3:24)、贖罪所を守るケルビム(出 25:20)が棕櫚の木を向かっている。

### (1) 人の顔

人の顔はかなたには、しゅろに向かっていた。

**エゼ 41:19** こなたには、しゅろに向かって、人の顔があり、かなたには、しゅろに向かって、若じしの顔があり、宮の周囲は、すべてこのように彫刻してあった。

人の顔は \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ を象徴する。

◆ イエス・キリストは神様のかたちである。

**Ⅱコリ 4:4** 彼らの場合、この世の神が不信の者たちの思いをくらませて、神のかたちであるキリストの栄光の福音の輝きを、見えなくしているのである。

**ロマ 8:29** 神はあらかじめ知っておられる者たちを、更に御子のかたちに似たものとしようとして、あらかじめ定めて下さった。それは、御子を多くの兄弟の中で長子とならせるためであった。

◆ 主の霊によって神様と同じ姿へと変えられていく。

**Ⅱコリ 3:18** わたしたちはみな、顔おおいなしに、主の栄光を鏡に映すように見つ、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられていく。これは霊なる主の働きによるのである。

**Ⅰヨハ 3:2** 愛する者たちよ。わたしたちは今や神の子である。しかし、わたしたちがどうなるのか、まだ明らかではない。彼が現れる時、わたしたちは、自分たちが彼に似るものとなることを知っている。そのまことの御姿を見るからである。

◆ \_\_\_\_\_ は救いに至らせる知恵の源である。

**Ⅱテモ 3:15** また幼い時から、聖書に親しみ、それが、キリスト・イエスに対する信仰によって救に至る知恵を、あなたに与える書物であることを知っている。

◆ \_\_\_\_\_ が神様の知恵である。

**Ⅰコリ 1:24** 召された者自身にとっては、ユダヤ人にもギリシヤ人にも、神の力、神の知恵たるキリストなのである。

**箴 8:22-23** 主が昔そのわざをなし始められるとき、そのわざの初めとして、わたしを造られた。<sup>23</sup>いにしえ、地のなかった時、初めに、わたしは立てられた。

**黙 5:12** 大声で叫んでいた、「ほふられた小羊こそは、力と、富と、知恵と、勢いと、ほまれと、栄光と、さんびとを受けるにふさわしい」。

◆ 神様を \_\_\_\_\_ ことは知恵のもとである。

**箴 9:10** 主を恐れることは知恵のもとである、聖なる者を知ることは、悟りである。



宮の羽目板に彫刻されたケルビムと棕櫚の木 | エゼ 41:19-20

The Cherubim and the Palm Trees Carved on the Paneled Walls Around the Temple



ケルビム / כְּרוּבִים  
cherubim  
エゼ 41:18-20, 25-26

棕櫚の木 / תְּמוּרָה  
palm trees  
エゼ 41:18-20, 25-26

高く伸ばされた二つの翼

שְׁתֵּי כַנְפֵי פִרְדּוֹת מִלְמַעְלָה

the two wings spread out above / エゼ 1:11<sup>上</sup>, 23<sup>上</sup>

「…その翼は高く伸ばされ…」(エゼ 1:11<sup>上</sup>)

からだをおおっている  
二つの翼

שְׁתֵּי כַנְפֵי

מְכַסּוֹת אֶת גּוֹיֵיהֶן

the two wings covering

their bodies / エゼ 1:11<sup>下</sup>, 23<sup>下</sup>

「…二つをもって体をおおっていた」(エゼ 1:11<sup>上</sup>)

人の顔と  
若じしの顔

פְּנֵי אָדָם וּפְנֵי כִפִּיר

a man's face and

a young lion's face

エゼ 41:19, 参考-エゼ 1:10, 10:14, 黙 4:7

「…ごあなたには、しゆるに向かって、人の顔があり、かなたには、しゆるに向かって、若じしの顔があり、宮の周囲は、すべてこのように彫刻してあった…」(エゼ 41:19)

四つの翼

אַרְבַּע כַּנְפִים / four wings / エゼ 1:6

「…おのおの四つの顔をもち、またそのおのおのに四つの翼があった」(エゼ 1:6)

まっすぐな足と子牛の足うら

רַגְלֵיהֶם רְגֵל יִשְׂרָאֵל וְקַדְרֵיהֶם

כְּרַגְלֵי עֵגֶל

straight legs and feet like

calf's hoof / エゼ 1:7

「その足はまっすぐで、足のうらは子牛の足のうらのようであり、みがいた青銅のように光っていた」(エゼ 1:7)

人の手 / אֲדָמָה

human hands / エゼ 1:8<sup>下</sup>, 10:8, 21

「その四方に、そのおのおのの翼の下に人の手があった…」(エゼ 1:8)

※ ヘブル語原文には「おのおの」に該当する単語がなく、「手」を意味する「ヤド」が複数形で使われ、「四方の翼の下に人の手がある」という意味となっている。

▶ 根本 - 「テヒラ(הִלֵּחַ)」：始まり、初め

**詩 111:10** 主を恐れることは知恵のはじめである。これを行う者はみな良き悟りを得る。  
主の誉は、とこしえに、うせることはない。

▶ 根本 - 「レシト(רִשִׁית)」：一番目、最初、始まり

**ヨブ 28:28** そして人に言われた、『見よ、主を恐れることは知恵である、悪を離れることは悟りである』と」。

## (2) 若じしの顔

若じしの顔は \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ をあらわす。

**エゼ 41:19** こなたには、しゅろに向かって、人の顔があり、かなたには、しゅろに向かって、若じしの顔があり、宮の周囲は、すべてこのように彫刻してあった。

ししは裁きを示す(エレ 4:7, 5:6, 49:19, 50:44)。

ししは最も強い(箴 30:30)。

\_\_\_\_\_ はししのように勇ましい。

**箴 28:1** 悪しき者は追う人もないのに逃げる、正しい人はししのように勇ましい

イエス・キリストと御子をつかわされたかたを信じる者はさばかれることがない。

**ヨハ 5:24** よくよくあなたがたに言うておく。わたしの言葉を聞いて、わたしをつかわされたかたを信じる者は、永遠の命を受け、またさばかれることがなく、死から命に移っているのである。

あわれみはさばきにうち勝つ。

**ヤコ 2:13** あわれみを行わなかった者に対しては、仮借のないさばきが下される。  
あわれみは、さばきにうち勝つ。

## 3. 棕櫚の木

ケルビムの顔が向けられている棕櫚の木は十字架の血しおで贖われた信徒をあらわす。

## (1) 義人（正しい者）

正しい者はなつめやしの木のように栄え、実を結ぶ。

**詩 92:12** 正しい者はなつめやしの木のように栄え、レバノンの香柏のように育ちます。

義人は \_\_\_\_\_ によって生きる。

**ハバ 2:4** 見よ、その魂の正しくない者は衰える。しかし義人はその信仰によって生きる。

**ガラ 2:20** 生きているのは、もはや、わたしではない。キリストが、わたしのうちに生きておられるのである。しかし、わたしがいま肉にあって生きているのは、わたしを愛し、わたしのためにご自身をささげられた神の御子を信じる信仰によって、生きているのである。

## (2) 勝利者

イエス・キリストは十字架で勝利した(ヨハ 16:33、コロ 2:15、黙 5:5)。

**ヨハ 12:13** しゅろの枝を手にとり、迎えに出て行った。そして叫んだ、「ホサナ、主の御名によってきたる者に祝福あれ、イスラエルの王に」。

イエス・キリストの十字架の血しおで贖われ、神様から天の \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ を得たものだけが最後の勝利者となる。

**黙 7:9** その後、わたしが見ていると、見よ、あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、数えきれないほどの大ぜいの群衆が、白い衣を身にまとい、しゅろの枝を手を持って、御座と小羊との前に立ち、

**黙 7:13-14** 長老たちのひとりが、わたしにむかって言った、「この白い衣を身にまとっている人々は、だれか。また、どこからきたのか」。<sup>14</sup>わたしは彼に答えた、「わたしの主よ、それはあなたがご存じます」。すると、彼はわたしに言った、「彼らは大きな患難をとおってきた人たちであって、その衣を小羊の血で洗い、それを白くしたのである。

\_\_\_\_\_ だけが世に勝つからである。

**Iヨハ 5:4-5** なぜなら、すべて神から生れた者は、世に勝つからである。そして、わたしたちの信仰こそ、世に勝たしめた勝利の力である。5 世に勝つ者はだれか。イエスを神の子と信じる者ではないか。

勝利した者は神の子であり、 \_\_\_\_\_ にあずかる。

**IIペテ 1:4** また、それらのものによって、尊く、大いなる約束が、わたしたちに与えられている。

それは、あなたがたが、世にある欲のために滅びることを免れ、神の性質にあずかる者となるためである。

勝利する者は \_\_\_\_\_ をあたえられる。

**黙 21:6-7** そして、わたしに仰せられた、「事はすでに成った。わたしは、アルファでありオメガである。初めであり終りである。かわいている者には、いのちの水の泉から価なしに飲ませよう。<sup>7</sup>勝利を得る者は、これらのものを受け継ぐであろう。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。

### (3) 永遠の命に至る実

神の国は \_\_\_\_\_ に与えられる。

**マタ 21:43** それだから、あなたがたに言うが、神の国はあなたがたから取り上げられて、御国にふさわしい実を結ぶような異邦人に与えられるであろう。

永遠の命に至る実を結ばなければならない。

**ヨハ 4:36** 刈る者は報酬を受けて、永遠の命に至る実を集めている。まく者も刈る者も、共に喜ぶためである。

聖なる民は永遠の命の実を結ぶ。

**ロマ 6:22** しかし今や、あなたがたは罪から解放されて神に仕え、きよきに至る実を結んでいる。その終極は永遠のいのちである。

主の家は命の水の源である(エレ 2:13、エゼ 47:1-2)。

**詩 92:12-13** 正しい者はなつめやしの木のように栄え、レバノンの香柏のように育ちます。  
<sup>13</sup>彼らは主の家に植えられ、われらの神の大庭に栄えます。

### (4) 栄光

最後のラッパでわたしたちの卑しいからだの主のような 栄光のからだへと変えられる。

**ピリ 3:21** 彼は、万物をご自身に従わせうる力の働きによって、わたしたちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じかたちに変えて下さるであろう。

火のような精錬を通じて栄光を得る。

**I ペテ 1:7** こうして、あなたがたの信仰はためされて、火で精錬されても朽ちる外はない金よりもはるかに尊いことが明らかにされ、イエス・キリストの現れるとき、さんびと栄光とほまれとに変わるであろう。

群れの模範となるものが栄光の冠を受ける。

**I ペテ 5:3-4** また、ゆだねられた者たちの上に権力をふるうことをしないで、むしろ、群れの模範となるべきである。<sup>4</sup>そうすれば、大牧者が現れる時には、しばむことのない栄光の冠を受けるであろう。

唯一父なる主の \_\_\_\_\_ なければならない。

**ヨハ 17:4-5** わたしは、わたしにさせるためにお授けになったわざをなし遂げて、地上であなたの栄光をあらわしました。<sup>5</sup>父よ、世が造られる前に、わたしがみそばで持っていた栄光で、今み前にわたしを輝かせて下さい。